

FACTORY AUTOMATION

三菱電機 **汎用** シーケンサ

MELSEC-AnS/QnAS (小形) リニューアルカタログ



MELSEC-AnS/QnAS (小形) シリーズから
MELSEC-L/Qシリーズへ

AnS-L

AnS-Q

さまざまなカタチで置換えを強力サポートします!

MELSEC-AnS/QnAS (小形) シリーズは、2014年9月をもちまして生産中止となりました。



MELSEC-AnS/QnAS (小形) シリーズから
→ MELSEC-L/Q シリーズへ

さまざまなカタチで **置換えを強力**

置換えのサポートは私たちにお任せください!

安心サポート

AnS/QnAS (小形) シリーズからの置換えサポート

AnS/QnAS (小形) シリーズからの置換えについては、以下までお気軽にお問合せください。

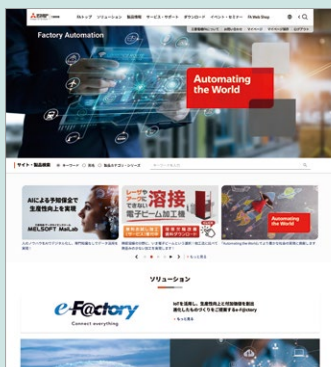
三菱電機FA機器 電話技術相談 窓口

TEL:052-711-5111

【TEL受付時間※1】 月曜～金曜 9:00～19:00 土曜・日曜・祝日 9:00～17:00

※1: 春季・夏季・年末年始の休日を除く

具体的なシステムの置換えは、最寄りの支社までお問い合わせください。



三菱電機FA機器のあらゆる情報を知り尽くす データベース

テクニカルニュース・置換えの手引き・Qシリーズへの
置換えサポートツールの情報が手軽に入手できます。

三菱電機FAサイト

www.MitsubishiElectric.co.jp/fa

FAグッズ

リニューアル機器/省配線・省工数機器についてのお問合せ

三菱電機エンジニアリング株式会社

技術サポート TEL. 0568-36-2068

MEEFAN <https://www.mee.co.jp/sales/fa/meefan/>

MELSEC-AnS/QnASシリーズのシステムリニューアル

システム検討からソフトウェア変換、現地工事および設備立上げまで全て実施します。

三菱電機システムサービス株式会社

【問合せ先】は次ページをご参照ください。

サポートします!



■ リニューアル機器

これまで配線と加工で時間がかかっていた取外し・取付け工程を、リニューアル機器を使用することで2アクションで完結できます。



■ 省配線・省工数機器

- 中継端子台 (I/O、アナログ、高速カウンタ、位置決めユニット用)
- デジタル信号変換器(ターミナルユニット)
- アナログ信号変換器
- シーケンサ接続用ケーブル
- サーボシステム用機器

技術サポート

▶お電話でのお問合せ

TEL **0568-36-2068**

受付/9:00~12:00、13:00~17:00 月曜~金曜
(土・日・祝日、春季・夏季・年末年始の休日を除く)

▶Webでのお問合せ

www.mee.co.jp/contact/ssl/php/1374/kiyaku.php?fid=1374&prod=meefan

受付/365日 24時間
(画像などのデータ授受の場合は、お近くの当社営業所へお問い合わせください)



三菱電機エンジニアリング株式会社FA機器の最新情報を掲載
スマート工場実現に向けトータルソリューションでサポートします

MEEFAN

検索

www.mee.co.jp/sales/fa/meefan/



営業統括部 :TEL.03-3288-1103
東日本営業支社:TEL.03-3288-1743

中日本営業支社:TEL.052-565-3435
西日本営業支社:TEL.06-6347-2926

中四国支店:TEL.082-248-5390
九州支店:TEL.092-721-2202



■ リニューアル総合カタログ

「MELSEC-AnS/QnASシリーズの置換えとシステムリニューアル」を、三菱電機システムサービス株式会社がシステム検討からソフトウェア変換、現地工事および設備立上げまで実施いたします。



■ FAソリューションパーツ総合カタログ

- リニューアル関連 (AOJ2リニュアルツール)
- ケーブル関連
- 無線機器関連
- インバータ関連

【問合せ先】

三菱電機システムサービス株式会社

◀リニューアル工事のご依頼/AOJ2リニュアルツールのご購入>

北日本支社 :022-353-7814

中部支社:052-722-7653 <工 事>

北陸支店:076-252-9519

北海道支店 :011-890-7515

:052-722-7602 <ツール>

中四国支社:082-285-2111

首都圏第2支社:03-3454-5521 <工 事>

関西支社:06-6458-9738

四国支店:087-831-3186

:03-3454-5511 <ツール>

九州支社:092-483-8208

リニューアルするための便利なツール!

安心リニューアル

生産中止と置換えについての情報を知りたい…	P.5
→ テクニカルニュース	AnS/QnAS→L AnS/QnAS→Q
→ 置換えの手引き	
既存のプログラムを流用して、かんたんにL/Qシリーズへ置き換えたい…	P.6
→ A/QnA→Q変換サポートツール	AnS/QnAS→L AnS/QnAS→Q MELSOFT
既存の配線はそのまま、Lシリーズに置き換えたい…	P.10
→ AnS/Lリニューアル機器(三菱電機エンジニアリング株式会社製)	AnS/QnAS→L
→ Lシリーズスペースユニット	
既存のユニットはそのまま、CPUユニットをQシリーズに置き換えたい…	P.14
→ QA増設ベースユニット	AnS/QnAS→Q
既設の取付け穴を利用し、Qシリーズを取り付けたい…	P.16
→ AnSサイズ版Qラージベースユニット	AnS/QnAS→Q
既設システムをQシリーズに置き換えるリニューアル機器	P.17
→ AnS/Qリニューアル機器(三菱電機エンジニアリング株式会社製)	AnS/QnAS→Q
MELSECNET/MINI-S3をCC-Linkに置き換えるが、配線はそのまま使いたい…	P.20
→ A2C形状CC-LinkリモートI/Oユニット	CC-Link
置換えを容易にするユニット群…	P.21
→ DC入力ユニット	AnS/QnAS→L AnS/QnAS→Q
→ リレー出力ユニット(全点独立接点)	
→ トライアック出力ユニット(全点独立)	
→ 温度調節ユニット	
→ 高速カウンタユニット	
→ アナログ出力位置決めユニット	
既設の通信ケーブルを利用してMELSECNET/Hに置き換えたい…	P.22
→ MELSECNET/Hネットワークユニット(ツイストバスタイプ)	ネットワーク
→ MELSECNET/Hネットワークユニット(光ループタイプ、同軸バスタイプ)	
機種一覧	P.23
→ 置換えサポート機種一覧、継続生産機種、生産中止機種、修理対応期間	サポート
サポート体制を知りたい…	P.2、P.26
→ インターネットサービス	サポート

置換えに関する各種情報を提供します!

テクニカルニュース

MELSEC-AnS/QnAS (小形) シリーズ、MELSEC-I/OLINK 生産中止のお知らせ (2012年10月発行)	FA-D-0142
MELSECNET (II) ,/Bデータリンクシステム生産中止について (2005年8月発行)	PLC-D-507
MELSECNET/MINI-S3およびA2Cシリーズ生産中止のお知らせ (2006年8月発行)	PLC-D-533
MELSECNET/10ネットワークユニット生産中止のお知らせ (2018年3月発行)	FA-D-0260
MELSEC-AnS/QnASシリーズ CC-Linkユニット生産中止のお知らせ (2022年1月発行)	FA-D-0364
MELSEC-AnSシリーズ電源ユニットの生産中止のお知らせ (2023年7月発行)	FA-D-0411
MELSEC-Aシリーズ大容量バッテリーユニット生産中止のお知らせ (2023年6月発行)	FA-D-0405

ユニット選定、プログラム流用方法など、置換え時のサポート情報を提供します。

置換えの手引き

MELSEC-AnS/QnAS (小形) シリーズからLシリーズへの置換えの手引き	
●基本編	L(名)08254
●インテリジェント機能ユニット編	L(名)08255
●ネットワークユニット編	L(名)08256
●通信編	L(名)08257
MELSEC-AnS/QnAS (小形) シリーズからQシリーズへの置換えの手引き	
●基本編	L(名)08209
●インテリジェント機能ユニット編	L(名)08208
MELSEC-A/QnA (大形)、AnS/QnAS (小形) シリーズからQシリーズへの置換えの手引き	
●ネットワークユニット編	L(名)08047
●通信編	L(名)08049
MELSECNET/MINI-S3、A2C (I/O) からCC-Linkへの置換えの手引き	L(名)08057
MELSEC-I/OLINKからAnyWire DB A20への置換えの手引き	L(名)08249
MELSEC-A/QnA (大形)、AnS/QnAS (小形) リニューアル事例集	L(名)08098
MELSEC-AnS/QnAS (小形) シリーズからMELSEC iQ-Rシリーズへの置換えの手引き	L(名)08667

- 置換えの手引き、カタログ、事例集に示す製品の置換えに際しましては、該当製品のマニュアルを参照いただき、詳細仕様、使用上の注意事項・制約などを確認の上、置換えを実施いただきますようお願いいたします。
また、三菱電機エンジニアリング株式会社製品、三菱電機システムサービス株式会社製品およびその他各社製品につきましては、各製品のカタログなどを参照いただき、詳細仕様、使用上の注意事項・制約などを確認の上、使用していただきますようお願いいたします。
- 本資料に記載している製品につきましては、お断りなしに仕様を変更することがありますのでご了承ください。

本カタログでは、特に明記する場合を除き、以下に示す略称を使って説明します。
AnS/QnAS シリーズ:三菱電機汎用シーケンサ MELSEC-AシリーズおよびMELSEC-QnA シリーズの小形シーケンサの略称
A/QnA シリーズ:三菱電機汎用シーケンサ MELSEC-A シリーズおよびMELSEC-QnA シリーズの大形シーケンサの略称
Lシリーズ:三菱電機シーケンサ MELSEC-Lシリーズのシーケンサの略称
Qシリーズ:三菱電機シーケンサ MELSEC-Q シリーズのシーケンサの略称

A/QnA→Q変換サポートツール〈無償〉※1※2

既存プログラムの変換(流用)で自動変換できなかった箇所を

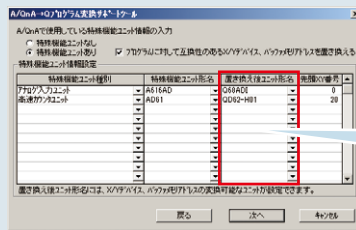
A/QnA→Q変換サポートツール

- AnS/QnAS用ラダープログラムをL/Qシリーズ用に交換
既存プログラムの変換(流用)で自動変換できなかった箇所を抽出、さらに修正方法を表示します。

GX DeveloperのPCタイプ変更で AnS/QnASプログラムからL/Qプログラムへ変換



AnS/QnASの現状の特殊機能ユニットの構成情報を入力



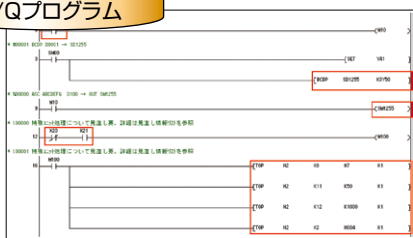
- ユニットの形名を指定することで、プログラムに対して互換性のあるX/Yデバイス、バッファメモリアドレスを置換え可能!

A/QnA→Q変換サポートツール

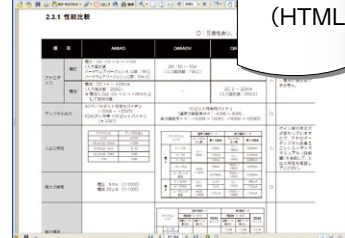
出力

出力実行を行うと、差分情報埋込みL/Qプログラムと見直し情報リストを表示

差分情報埋込みL/Qプログラム



見直し情報リスト (HTMLファイル)



- 既存プログラムと変更後のプログラムの見比べ不要!

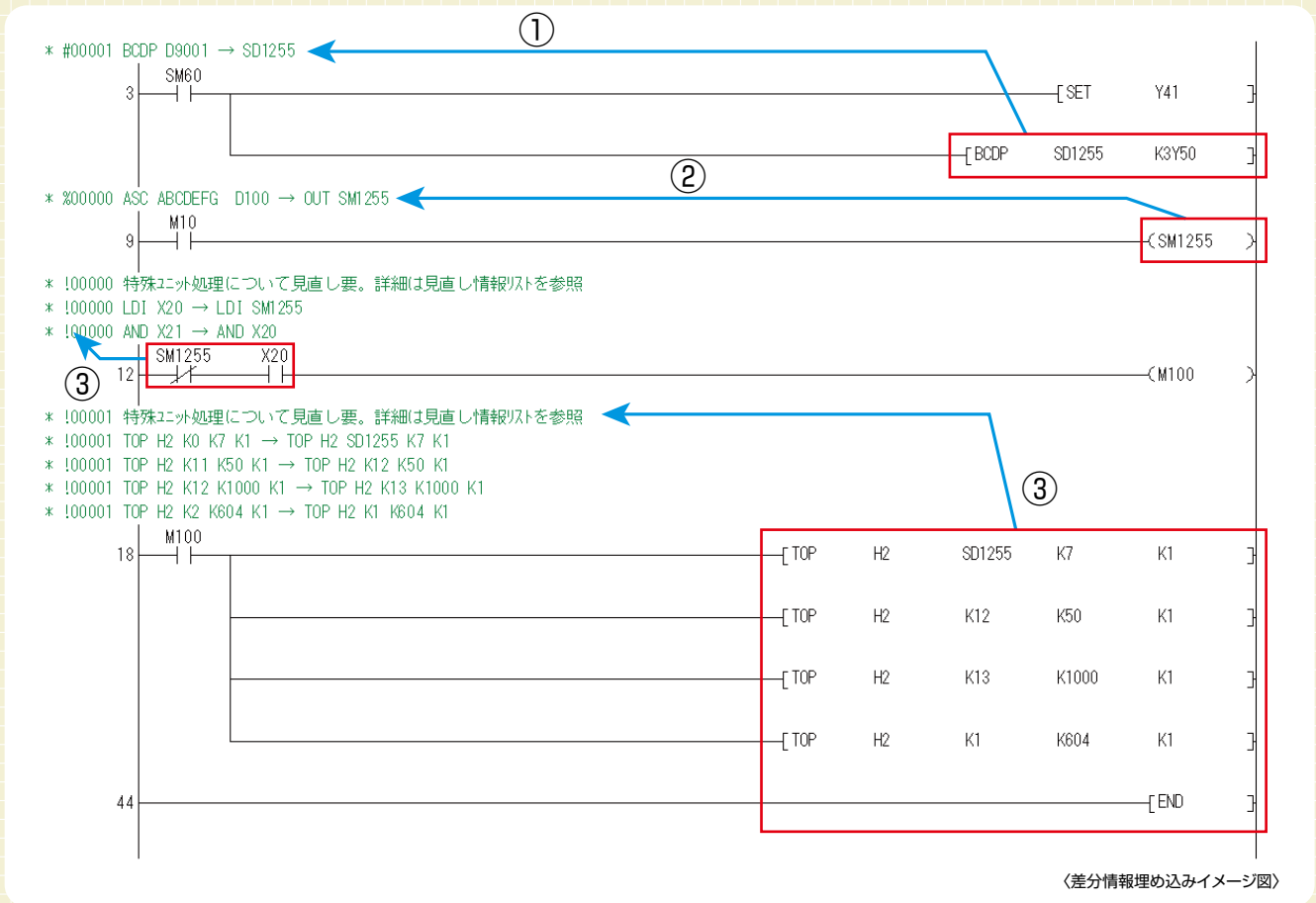
- 変換できなかった命令、デバイスの一覧表示
- 特殊機能ユニットの置換え推奨ユニット情報の表示

※1:A/QnA→Q変換サポートツールは生産終了となりました。
 ※2:ラダープログラムが対象です。ラダープログラム以外はサポートしていません。
 CPUをユニバーサルモデルQCPUに置き換える場合、Ver1.06以降のA/QnA→Q変換サポートツールをお使いください。
 CPUをLCPUに置き換える場合、Ver1.1以降のA/QnA→Q変換サポートツールをお使いください。
 ※3:GX Developerは生産終了となりました。プロダクトIDをお持ちのお客様は以下URLからダウンロードして、ご使用いただけます。
https://www.MitsubishiElectric.co.jp/fa/ref/ref.html?k=plceng&software=gx_developer_ja
 ※4:GX Developerでは、ユニバーサルモデル高速タイプQCPUおよびLCPU(L02CPU、L26CPU-BTを除く)へのPCタイプの変更ができません。
 ユニバーサルモデル高速タイプQCPUおよびLCPU(L02CPU、L26CPU-BTを除く)に置き換える場合は、以下の手順でPCタイプを変更してください。
 ①GX Developerにて、PCタイプをユニバーサルモデルQCPUに変更してプロジェクトを保存する。
 ②A/QnA→Q変換サポートツールにて、差分情報埋込みQプログラムと見直し情報リストを出力する。
 ③GX Developerにて、見直し情報リストを参考にして、差分情報埋込みQプログラムを修正する。
 ④GX Works2にて、差分情報埋込みQプログラムを開き(プロジェクト - 他形式データを開く - 他形式プロジェクトを開く)、PCタイプをユニバーサルモデル高速タイプQCPUに変更する。

抽出! さらに修正方法を表示!

1 差分情報埋込みQプログラム例

■差分情報埋込みQプログラムで、直接修正が可能!
修正作業時の見落しを防ぎ、作業効率向上が図れます。



①自動変換できなかったデバイスのステートメント表示—#

変換前のデバイスと変換後のデバイスを以下のように表示し、その回路ブロックに含まれるものを1行ずつ表示します。
(例) #00001 BCDP D9001 → SD1255 (#00001は見直し情報リストからの検索キーワードです。)

②自動変換できなかった命令のステートメント表示—%

変換前の命令と変換後の命令を以下のように表示し、その回路ブロックに含まれるものを1行ずつ表示します。
(例) %00000 ASC ABCDEFG D100 → OUT SM1255 (%00000は見直し情報リストからの検索キーワードです。)

③特殊機能ユニットアクセス処理のステートメント表示—!

特殊機能ユニットアクセス命令 (FROM, DFRO, TO, DTO, および、X/Yデバイス使用命令) については、見直しが必要であるためのメッセージを表示します。X/Yデバイス、バッファメモリアドレスを置き換えた場合は、置き換え前後の状態を表示します。

(例) !00001 特殊機能ユニット処理について見直し要。詳細は、見直し情報リストを参照
(!00001は見直し情報リストからの検索キーワードです。)

A/QnA→Q変換サポートツール〈無償〉※1

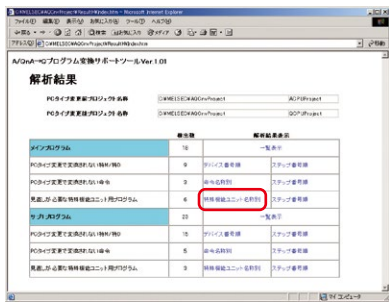
※1:A/QnA→Q変換サポートツールは生産終了となりました。

2 見直し情報リスト

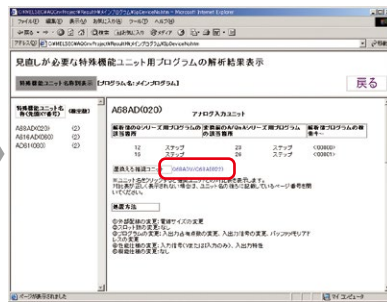
■見直し情報リストから、置換え前と置換え後のユニット性能比較を確認可能!

プログラム修正のためのサポートガイダンスを、Internet Explorer®で階層的に詳細表示します。
また、プログラム中に埋め込まれた差分情報と見直し情報リスト間は、検索により相互リンクできます。

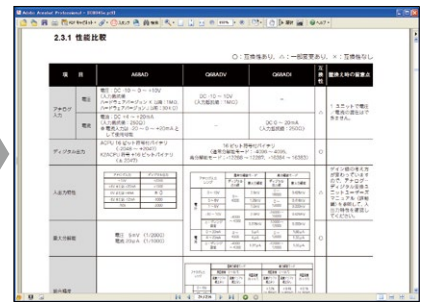
〈例1〉特殊機能ユニット制御処理で変更が必要となる箇所の場合



「見直しが必要な特殊機能ユニット用プログラム」の「特殊機能ユニット名称順」をクリック



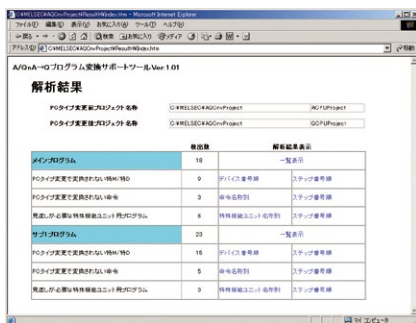
「置換える推奨ユニット」の「推奨ユニットの名称」をクリック



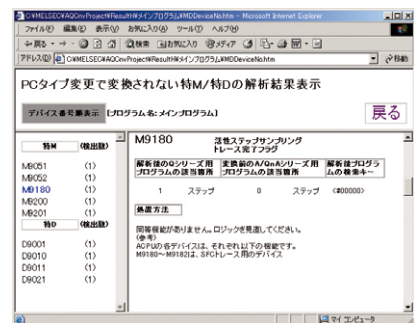
ユニット性能比較を確認できます。

■変換されない特M/特Dの解析結果を表示。修正箇所と修正内容の確認が可能!

〈例2〉Qへ変更されない特M/特D表示



「PCタイプ変更で変換されない特M/特D」の「デバイス番号順」をクリック



修正内容を確認できます。

A/QnA→Q変換サポートツールの無償ダウンロード

以下URLより、無償でダウンロードいただけます。

https://www.MitsubishiElectric.co.jp/fa/ref/ref.html?k=plc&software=sw1d5n_aqcnv_j

A/QnA→Q変換サポートツールの動作環境

詳細は、Web上の「A/QnA→Q変換サポートツール操作手順書」をご参照ください。

●必須ソフト ……………GX Developer^{※1} Ver.8.25B以降^{※2}

※1:GX Developerは生産終了となりました。プロダクトIDをお持ちのお客様は以下URLからダウンロードして、ご使用いただけます。
https://www.MitsubishiElectric.co.jp/fa/ref/ref.html?k=plceng&software=gx_developer_ja

※2:A/QnA→Qプログラム変換サポートツールおよび、MELSECNET (II)ローカル局用リフレッシュプログラム生成ツールにてユニバーサルモデルQCPUを扱う場合は、GX Developer Ver.8.95Z以降
MELSECNET (II)→MELSECNET/10(H)パラメータ変換ツールを使用する場合は、GX Developer Ver.8.101F以降
Ver.8.95Z以前のGX Developerをお持ちの場合は、三菱電機FAサイトからアップデート版をダウンロードして、最新版(Ver.8.95Z以降)にアップデートできます。

●ブラウザ ……………Microsoft[®]提供 Internet Explorer[®] Ver.6以降

●PDF閲覧ソフト ……………Adobe[®] Reader[®] Ver.6以降

モーションコントローラ用A→Q変換サポートツール

モーションコントローラAシリーズのシーケンスプログラムからQシリーズ用シーケンスプログラムへの変換サポートツールを提供します。

1. 自動変換できなかったモーション専用命令のステートメント表示

2. モーション専用デバイスのステートメント表示

3. SW3RN-LADDERP形式コメントファイルのGX Developer形式への変換

■モーションコントローラ用A/QnA→Q変換サポートツールの入手につきましては、弊社各支社のサーボ担当部門にお問い合わせいただけますようお願いいたします。

AnS/L リニューアル機器

(三菱電機エンジニアリング株式会社製)

既設の配線はそのままで、Lシリーズへ置換え可能!

■AnS/QnAS シリーズからL シリーズへの置換え提案

●タクトタイム短縮につながる設備能力の向上を実現

Lシリーズシーケンサは、演算処理速度の高速化(AnSシリーズに比べ約5倍の処理性能向上)、バスの高速化を実現させます。AnS/QnAS シリーズからLシリーズシーケンサへ置き換えることにより、設備の能力を大幅に向上できます。

●ベースレスでフレキシブルな構成が可能

Lシリーズはベースユニットが不要です。取付けスペースはベースユニットサイズに制約を受けることなく、最小スペースで設置できます。ユニット追加時にもベースユニットの-slot数による制約を受けず、増設ベースユニット追加などのシステムコストを削減できます。

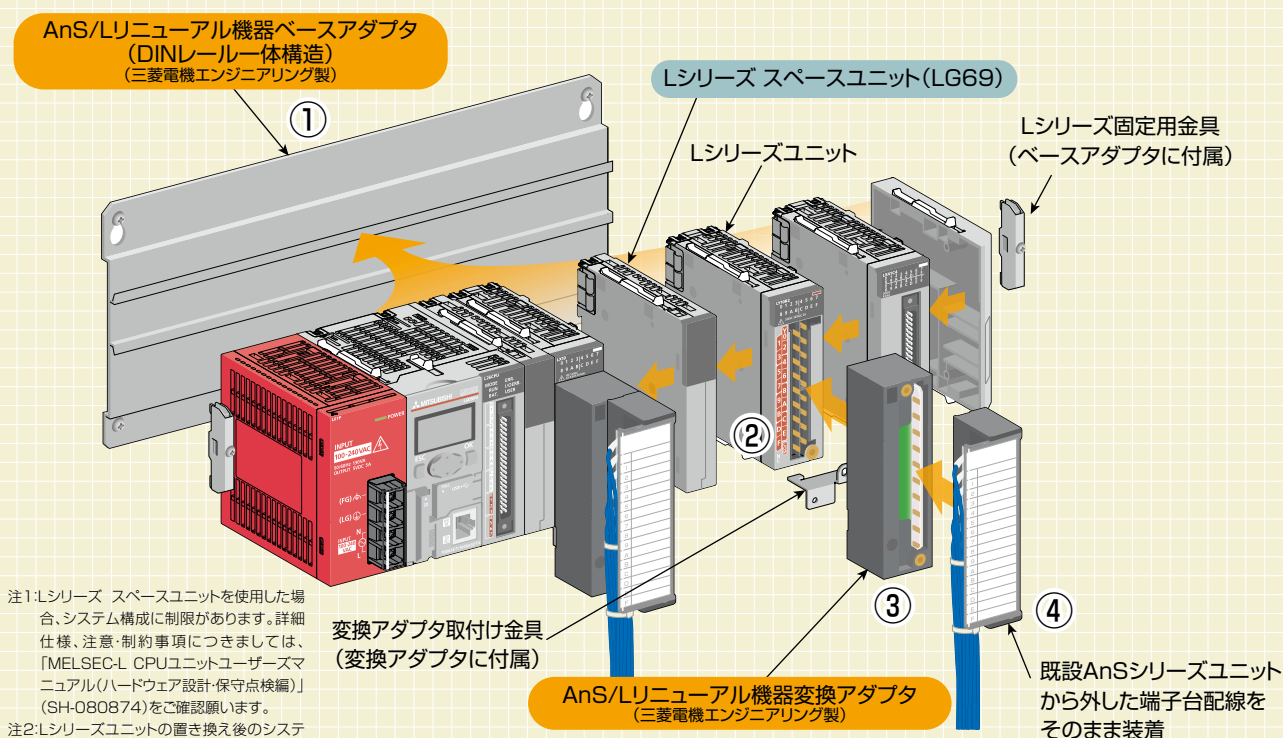
●CPU内蔵機能でシステムコストを削減

LCPUユニットには、豊富な内蔵機能(汎用入力、割込み入力、パルスキャッチ、汎用出力、高速カウンタ、位置決め、Ethernet、CC-Link)が搭載されています。

内蔵機能を自由に組み合わせることで各機能専用のユニットが不要となり、システムコストを抑えながら、多彩な制御を実現できます。

AnS/Lリニューアル機器(変換アダプタ、ベースアダプタ)とLシリーズスペースユニットを用いてLシリーズシステムに置き換える例

- ①既設のAnS/QnASシリーズシーケンサをベースユニットごと取り外し、AnS/Lリニューアル機器(ベースアダプタ)を装着します。(既設の取付け穴を利用するため、取付け穴の再加工は不要です。)
- ②スペースユニットは、AnS/L 変換アダプタ(端子台タイプ)を使用するLシリーズユニットの左隣に1台のみ使用します。
- ③Lシリーズの各ユニットに、AnS/Lリニューアル機器(変換アダプタ)を取り付けます。
- ④既設のAnS/QnASシリーズのユニットに装着されている配線端子台/コネクタを取り外して、変換アダプタに装着します。



注1:Lシリーズスペースユニットを使用した場合、システム構成に制限があります。詳細仕様、注意・制約事項につきましては、「MELSEC-L CPUユニットユーザーマニュアル(ハードウェア設計保守点検編)」(SH-080874)をご確認ください。

注2:Lシリーズユニットの置き換え後のシステム横幅寸法がAnS/QnAS(小型)シリーズのシステム横幅寸法より大きくなる場合があります。詳細につきましては、「MELSEC-AnS/QnAS(小形)シリーズからLシリーズへの置換えの手引き(基本編)」(L08254)をご参照ください。

■AnS/Lリニューアル機器

AnS/QnASシリーズの入力/出力/アナログ/高速カウンタユニットに接続されていた既設配線を、置き換え後のLシリーズユニット用に配線変更する「変換アダプタ」、AnS/QnASシリーズ用ベースユニットの取付け穴を利用し、Lシリーズシーケンサを取り付けられる「ベースアダプタ」、が用意されています。

■変換アダプター一覧

入力/出力ユニット用<1ユニットタイプ>

入力/出力	MELSEC-AnS/QnAS シリーズユニット形名	MELSEC-Lシリーズ ユニット形名	変換アダプタ形名	スペースユニット (LG69)
入力	A1SX10, A1SX10EU	LX10	ERNT-ASLTXY10	使用可能
	A1SX40, A1SX40-S1, A1SX40-S2	LX40C6	ERNT-ASLTX40	使用可能
	A1SX41, A1SX41-S1, A1SX41-S2	LX41C4	同形状コネクタのため既設配線を使用可能	不要
	A1SX42, A1SX42-S1, A1SX42-S2	LX42C4	同形状コネクタのため既設配線を使用可能	不要
	A1SX71	LX41C4	同形状コネクタのため既設配線を使用可能	不要
	A1SX80, A1SX80-S1, A1SX80-S2	LX40C6	ERNT-ASLTX80	使用可能
	A1SX81, A1SX81-S2	LX41C4	ERNT-ASLCXY81	不要
	A1SX82-S1	LX42C4	同形状コネクタのため既設配線を使用可能	不要
出力	A1SY10, A1SY10EU	LY10R2	ERNT-ASLTXY10	使用可能
	A1SY22	LY20S6	ERNT-ASLTY22	使用可能
	A1SY40, A1SY40P	LY40NT5P	ERNT-ASLTY40	使用可能
	A1SY41, A1SY41P	LY41NT1P	同形状コネクタのため既設配線を使用可能	不要
	A1SY42, A1SY42P	LY42NT1P	同形状コネクタのため既設配線を使用可能	不要
	A1SY50	LY40NT5P	ERNT-ASLTY50	使用可能
	A1SY80	LY40PT5P	ERNT-ASLTY80	使用可能
	A1SY81, A1SY81EP	LY41PT1P	ERNT-ASLCXY81	不要
A1SY82	LY42PT1P	同形状コネクタのため既設配線を使用可能	不要	
入出力	A1SH42, A1SH42P	LH42C4NT1P	同形状コネクタのため既設配線を使用可能	不要
	A1SH42-S1, A1SH42P-S1	LH42C4NT1P	同形状コネクタのため既設配線を使用可能	不要

アナログユニット用<1ユニットタイプ>

入力/出力	MELSEC-AnS/QnAS シリーズユニット形名	MELSEC-Lシリーズ ユニット形名	変換アダプタ形名	スペースユニット (LG69)
入力	A1S64AD	L60AD4	ERNT-ASLT64AD	使用可能
出力	A1S62DA	L60DA4	ERNT-ASLT62DA	使用可能

高速カウンタユニット用<1ユニットタイプ>

MELSEC-AnS/QnAS シリーズユニット形名	MELSEC-Lシリーズ ユニット形名	変換アダプタ形名	スペースユニット(LG69)
A1SD61	LD62	ERNT-ASLTD61	使用可能
A1SD62		ERNT-ASLTD62	使用可能

■ベースアダプター一覧

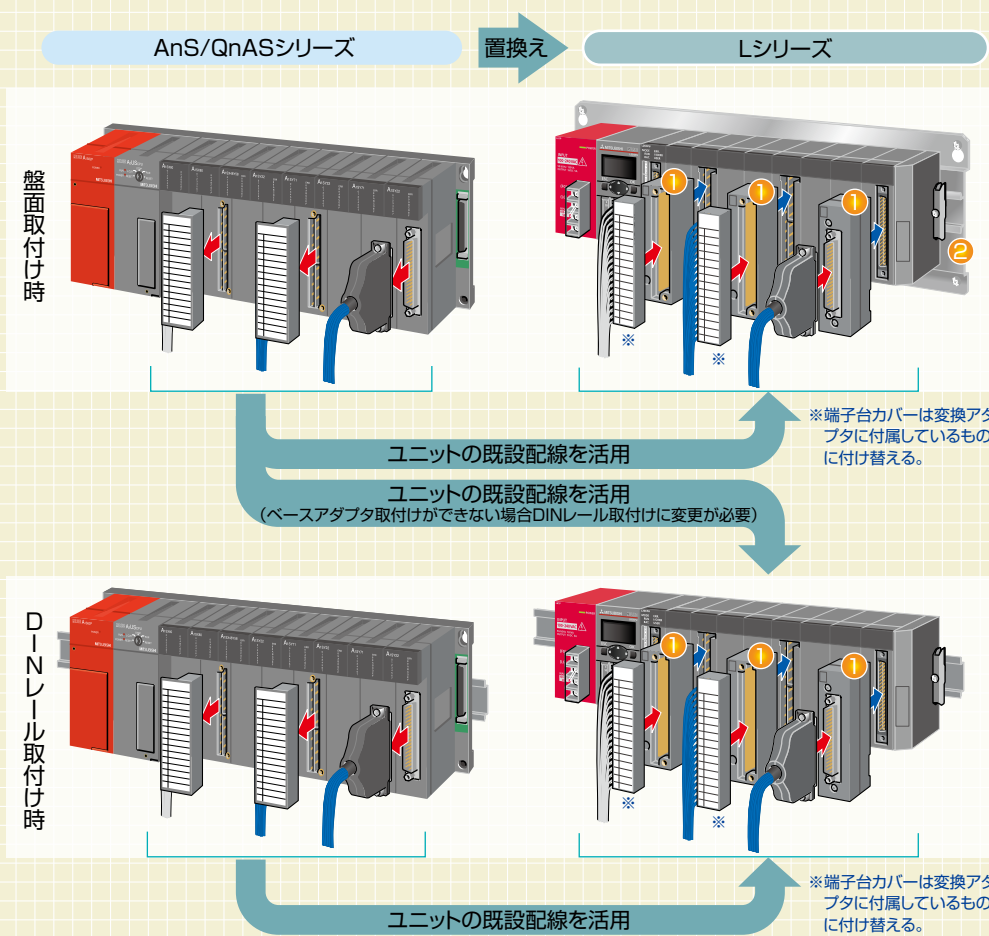
ユニット種別	MELSEC-AnS/QnAS シリーズユニット形名	ベースアダプタ形名	ユニット種別	MELSEC-AnS/QnAS シリーズユニット形名	ベースアダプタ形名
基本ベース ユニット	A1S32B	ERNT-ASLB32	電源ユニット 不要タイプ	A1S52B	ERNT-ASLB52
	A1S33B	ERNT-ASLB33		A1S55B	ERNT-ASLB55
	A1S35B	ERNT-ASLB35		A1S58B	ERNT-ASLB58
	A1S38B, A1S38HB	ERNT-ASLB38	CPU・電源・ ベースユニット 一体型	A1SJCPU	ERNT-ASLBJ
電源ユニット 装着タイプ	A1S65B	A1SJCPU-S3			
	A1S68B	ERNT-ASLB68	A1SJHCPU		

AnS/L リニューアル機器

(三菱電機エンジニアリング株式会社製)

■変換アダプタ、ベースアダプタの取付け方法

AnS/QnASシリーズのユニットに接続されていた既設配線を、Lシリーズユニットの接続にそのまま流用できます。



■リニューアル機器構成

- ① 変換アダプタ
- ② ベースアダプタ※
AnS/QnASシリーズベースユニットの取付け穴を利用し、Lシリーズが取り付けられるアダプタです。

※Lシリーズユニットの置換え後のシステム横幅寸法がAnS/QnASシリーズのシステム横幅寸法より大きくなる場合があります。置換え後の横幅寸法が大きい場合は、DINレール取付けに変更を検討ください。詳細につきましては「MELSEC-AnS/QnAS(小形)シリーズからLシリーズへの置換えの手引き(基本編)」(L08254)をご参照ください。

注1:Lシリーズスペースユニットを使用した場合、システム構成に制限があります。詳細仕様、注意・制約事項につきましては、「MELSEC-L CPUユニットユーザーズマニュアル(ハードウェア設計・保守点検編)」(SH-080874)をご参照ください。

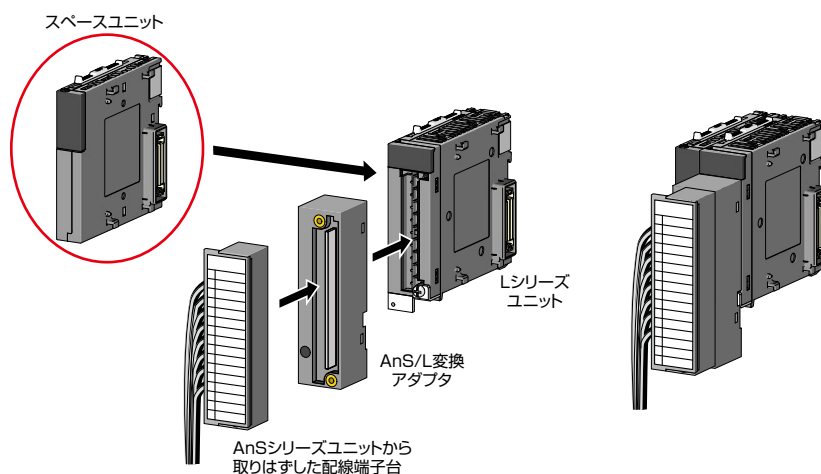
「FAグッズ:リニューアル機器/省配線・省工数機器」の詳細仕様、注意・制約事項につきましては、関連カタログ(P.3参照)・取扱説明書などで確認いただけますようお願いいたします。不明点につきましては、三菱電機エンジニアリング株式会社技術サポート(P.2、3参照)にお問い合わせください。



Lシリーズ スペースユニット

■Lシリーズ スペースユニット

Lシリーズ スペースユニット(LG69)は、AnS/QnASシリーズシステムからLシリーズシステムへ置換えの際、既設配線の配線スペースを確保するためのユニットです。
既設の配線はそのまま、システムだけを置換えてできるため、配線変更作業の負担を軽減できます。



■基本/増設ブロックに対する装着可能数

基本ブロックに対して、最大8セット+分岐ユニット1台の装着が可能です。
増設ブロックに対して、最大8セット/11ユニット装着可能です。

※構成により制約事項があります。詳細は「MELSEC-L CPUユニットユーザーズマニュアル(ハードウェア設計・保守点検編)」(SH-080874)をご参照ください。

■装着ユニットのセット数

装着ユニット	ユニット占有数が1のユニット	ユニット占有数が2のユニット
セット数	<p>1セット (スペースユニットの装着にかかわらず1セットと数えます)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>Lシリーズ スペース ユニット (ユニット 占有数:1)</p> <p>1セット</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>Lシリーズ ユニット (ユニット 占有数:1)</p> <p>1セット</p> </div> </div>	<p>2セット (スペースユニットの装着にかかわらず2セットと数えます)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>Lシリーズユニット スペース ユニット (ユニット 占有数:2)</p> <p>2セット</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>Lシリーズユニット (ユニット 占有数:2)</p> <p>2セット</p> </div> </div>

QA増設ベースユニット(QA1S51B)

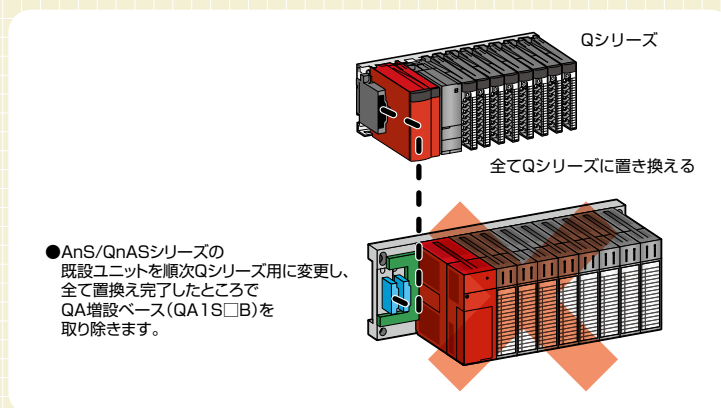
既存のユニットをそのまま利用し、CPUをQCPUに置換え可能!

■AnS/QnASシリーズからQシリーズ(Qモード)へ段階的に置換えできます。

- 既存システムのAnS/QnASベース上のユニットをQA1S□B形増設ベースユニットに装着することにより、既存のAnS/QnASシリーズユニットをそのまま流用して、新設のQシリーズCPU(Qモード)で制御するシステムを構築できます。さらに、ステップ2以降から順次Qシリーズユニットに置き換えていくことで、最終的にQシリーズのみの構成となります。



ステップ2

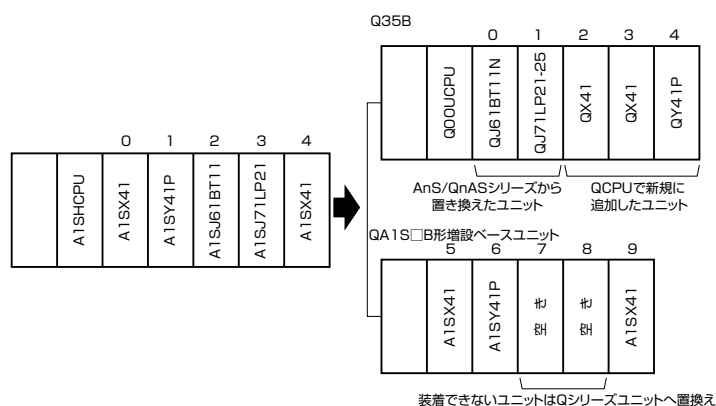


- QA1S□B形増設ベースユニットを使用できるのは、ユニバーサルモデルQCPU※1(ユニバーサルモデル高速タイプQCPUを含む)です。プロセスCPU、二重化CPU、安全CPU、リモートI/O局では使用できません。
- QA1S□B形増設ベースユニットには装着できないユニットがあります。詳しくは「QCPUユーザーズマニュアル(ハードウェア設計・保守点検編)」(SH-080472)をご参照ください。
- QA1S51Bの後ろに増設接続はできません。(QA1S51Bには、増設ケーブルコネクタ(OUT)がありません。)

※1: シリアルNo.上5桁が"13102"以降のユニバーサルモデルQCPUが対応しています。

■既存ユニットを流用しても入出力番号(I/Oアドレス)は変更不要です。

- CPUをQCPUに変更して既存ユニットをそのまま利用する場合、PCパラメータのI/O割付設定で、既存ユニットの入出力番号を従来のアドレスに設定し、基本ベースユニットに装着するユニットの入出力番号を既存ユニット以降のアドレスにすることにより、プログラムの修正を大幅に軽減できます。



注: 入出力番号の割付けは、「Qシリーズユニット→AnS/QnASシリーズユニット」または、「AnS/QnASシリーズユニット→Qシリーズユニット」の順になるようにしてください。

「Qシリーズユニット→AnS/QnASシリーズユニット→Qシリーズユニット」などのように混在設定した場合は、CPUがエラーとなりますのでご注意ください。

■I/O割付例

	形名	種別	占有点数	アドレス	
基本ベースユニット	0	QJ61BT11N	インテリ	32点	100
	1	QJ71LP21-25	インテリ	32点	120
	2	QX41	入力	32点	140
	3	QX41	入力	32点	160
	4	QY41P	出力	32点	180

	形名	種別	占有点数	アドレス	
増設ベースユニット	5	A1SX41	入力	32点	00
	6	A1SY41P	出力	32点	20
	7	—	空き	32点	40
	8	—	空き	32点	60
	9	A1SX41	入力	32点	80

AnSサイズ版Qラージベースユニット

■AnSサイズ版Qラージベースユニット

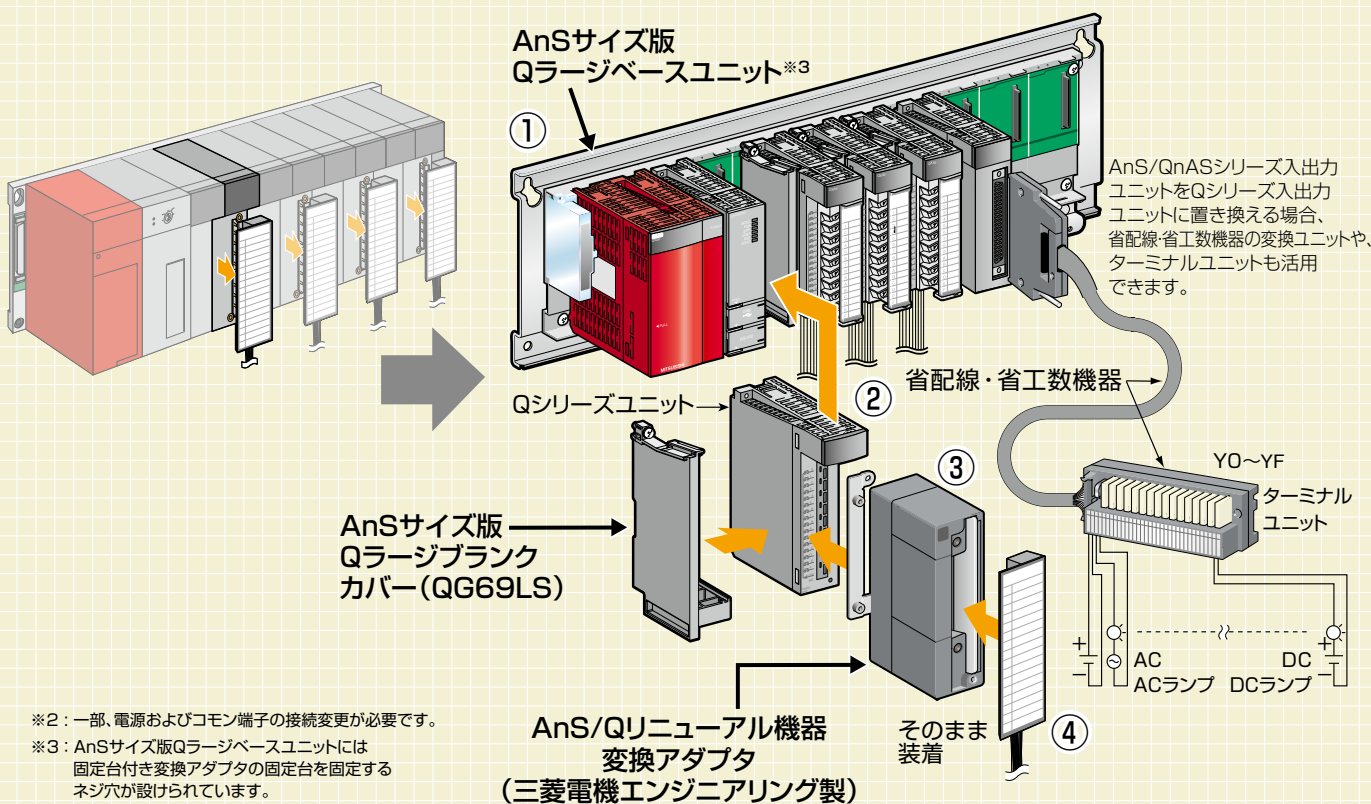
AnSサイズ版Qラージベースユニットは、AnS/QnASシリーズからQシリーズへ置換えの際、既設と同一の設置スペースに既設配線を活用して置換えを行うためのベースユニットです。

- 既設のAnS/QnASシリーズ16点端子台入出力ユニットの配線端子台をそのまま装着することで、配線変更の負担を軽減できます。
- I/Oスロットの幅がAnSシリーズと同一のため、変換アダプタ(三菱電機エンジニアリング株式会社製リニューアル機器)を用いて、既設のAnS/QnASシリーズの端子台を配線変更なしで流用する際に、隣のユニットとの配線の干渉を軽減できます。^{※1}
- Qラージベースユニットの取付け寸法は、AnS/QnASシリーズと同一寸法のため、取付け穴がそのまま使用できます。
- 盤面取付けタイプとDINレール取付けタイプがあります。ご使用の環境に合わせて取付けタイプを選択できます。

※1：Qシリーズのユニットには、AnSサイズ版Qラージブラックカバー-QG69LS(別売)の装着が必要です。

変換アダプタとAnSサイズ版Qラージベースユニットを用いてQシリーズに置き換える例

- ① 既設のAnS/QnASシリーズシーケンサをベースユニットごと取り外し、既設の取付け穴を利用して、AnSサイズ版Qラージベースユニットを装着します。(取付け穴の再加工が不要です。)
- ② AnSサイズ版QラージブラックカバーをQシリーズユニットに装着し、QシリーズユニットをAnSサイズ版Qラージベースユニットに装着します。
- ③ AnSサイズ版Qラージベースユニットに装着したQシリーズユニットに、リニューアル機器(変換アダプタ)を取り付けます。
- ④ 既設のAnS/QnASシリーズのユニットから配線された端子台/コネクタを取り外して、変換アダプタに装着します。(配線をそのまま活用できます。^{※2})



■AnSサイズ版Qラージベースユニット一覧

AnS/QnASシリーズベースユニットの取付け穴を利用し、Qシリーズのユニットを取り付けられるベースユニットです。DINレール取付けタイプもあります。I/Oスロットの幅がAnSシリーズと同一のため、隣のユニットとの配線の干渉を軽減できます。^{※4}

取付けタイプ	基本ベースユニット	増設ベースユニット	取付けタイプ	基本ベースユニット	増設ベースユニット
盤面取付けタイプ	Q35BLS Q38BLS	Q65BLS Q68BLS Q55BLS	DINレール取付けタイプ	Q35BLS-D Q38BLS-D	Q65BLS-D Q68BLS-D Q55BLS-D

※4：Qシリーズのユニットには、AnSサイズ版Qラージブラックカバー-QG69LS(別売)を装着する必要があります。

AnS/Q リニューアル機器

(三菱電機エンジニアリング株式会社製)

■AnS/Qリニューアル機器

リニューアル機器は、AnS/QnASシリーズの入力/出力/アナログ/高速カウンタ/温度入力/温度調節ユニットに接続されていた既設配線を置換え後のQシリーズのユニット用に配線を流すための「変換アダプタ」、AnS/QnASシリーズ用ベースユニットの取付け穴を利用し、Qシリーズベースユニットを取り付けられる「ベースアダプタ」、DINレールに取り付けたQシリーズベースユニットに固定台付き変換アダプタおよび断線検知機能付き温度調節ユニット用断線検知コネクタ変換ケーブルを装着するための「変換アダプタDINレール取付け金具」から構成されています。

■省配線・省工数機器

システム構築を容易でかつ安価に実現するための製品です。

コネクタ/端子台変換ユニット、デジタル信号変換器(ターミナルユニット)、シーケンサ位置決め用ケーブルなどが品揃えされています。ユニットの仕様などによりユニット単体での置き換えが困難な場合は、外部に省配線・省工数機器を活用することで、システムの置換えが容易になります。

■変換アダプター一覧

入力/出力ユニット用*1 <1スロットタイプ>

入力/出力	AnS/QnASシリーズ 入力/出力ユニット形名	Qシリーズ 入力/出力ユニット形名	変換アダプタ形名	
入力	A1SX10	QX10	ERNT-ASQTXY10	
	A1SX10EU			
出力	A1SY10	QY10		
	A1SY10EU			
入力	A1SX40	QX40, QX70		ERNT-ASQTX40
	A1SX40-S2	QX40		
	A1SX40-S1	QX40-S1		
	A1SX80	QX80	ERNT-ASQTX80	
	A1SX80-S1			
A1SX80-S2				
出力	A1SY22	QY22		ERNT-ASQTY22
	A1SY40 (P)	QY40P		ERNT-ASQTY40
	A1SY50	QY50	ERNT-ASQTY50	
	A1SY80	QY80	ERNT-ASQTY80	

入力/出力ユニット用*1 <2スロットタイプ>

入力/出力	AnS/QnASシリーズ 入力/出力ユニット形名	Qシリーズ 入力/出力ユニット形名	変換アダプタ形名
入力	A1SX20	QX28 ×2台	ERNT-ASQTX20*2
	A1SX20EU		
出力	A1SY60	QY68A ×2台	ERNT-ASQTY60*2
	A1SY60E		ERNT-ASQTY60E*2

アナログユニット用 <1スロットタイプ>

入力/出力	AnS/QnASシリーズ ユニット形名	Qシリーズ ユニット形名	変換アダプタ形名
入力	A1S64AD	Q64AD	ERNT-ASQT64AD
	A1S68AD(電圧入力)	Q68ADV	ERNT-ASQT68AD
	A1S68AD(電流入力)	Q68ADI	
	A1S68AD	Q68AD-G*2	ERNT-ASQT68AD-G*3
出力	A1S62DA	Q62DAN	ERNT-ASQT62DA
	A1S68DAV	Q68DAVN	ERNT-ASQT68DA
	A1S68DAI	Q68DAIN	
入出力	A1S63ADA	Q64AD2DA*2	ERNT-ASQT63ADA

高速カウンタユニット用 <1スロットタイプ>

AnS/QnASシリーズ ユニット形名	Qシリーズ ユニット形名	変換アダプタ形名
A1SD61	QD62	ERNT-ASQTD61*3
	QD62-H01	
	QD62-H02	
A1SD62	QD62	ERNT-ASQTD62*3
A1SD62E	QD62E	
A1SD62D	QD62D	

温度入力ユニット用 <1スロットタイプ>

入力/出力	AnS/QnASシリーズ ユニット形名	Qシリーズ ユニット形名	変換アダプタ形名
入力	A1S68TD	Q68TD-G-H01	ERNT-ASQT68TD-H01*3
		Q68TD-G-H02*2	ERNT-ASQT68TD-H02*3
	A1S62RD3(N)	Q64RD	ERNT-ASQT62RD
	A1S62RD4(N)		

温度調節ユニット用 <1スロットタイプ>

AnS/QnASシリーズ 形名	Qシリーズ ユニット形名	変換アダプタ形名
A1S64TCTT-S1	Q64TCTTN	ERNT-ASQT64TCTT
A1S64TCTRT*4		
A1S64TCRT-S1	Q64TCRTN	ERNT-ASQT64TCRT
A1S64TCTRT*5		
A1S62TCTT-S2	Q64TCTTN	ERNT-ASQT62TCTT
A1S64TCTRT*6		
A1S62TCRT-S2	Q64TCRTN	ERNT-ASQT62TCRT
A1S64TCTRT*7		

断線検知機能付き温度調節ユニット用

<1スロットタイプ+断線検知コネクタ変換ケーブル>

AnS/QnASシリーズ 形名	Qシリーズ ユニット形名	セット形名 (変換アダプタ形名)
A1S64TCTTBW-S1	Q64TCTTBWN*2	ERNT-ASQT64TCTTBW (ERNT-ASQT64TCTT)*8
A1S64TCTRTBW*4		
A1S64TCRTBW-S1	Q64TCRTBWN*2	ERNT-ASQT64TCRTBW (ERNT-ASQT64TCRT)*8
A1S64TCTRTBW*5		
A1S62TCTTBW-S2	Q64TCTTBWN*2	ERNT-ASQT62TCTTBW (ERNT-ASQT62TCTT)*8
A1S64TCTRTBW*6		
A1S62TCRTBW-S2	Q64TCRTBWN*2	ERNT-ASQT62TCRTBW (ERNT-ASQT62TCRT)*8
A1S64TCTRTBW*7		

*1:一部、電源およびコモン端子の接続変更が必要です。

*2: AnSサイズ版Qラージベースユニットでは使用できません。

*3: 固定台付きの変換アダプタです。ベースアダプタ、または変換アダプタDINレール取付け金具への固定が必要です。

*4: 標準制御、熱電対入力にて使用時

*5: 標準制御、白金測温抵抗体入力にて使用時

*6: 加熱冷却制御、熱電対入力にて使用時

*7: 加熱冷却制御、白金測温抵抗体入力にて使用時

*8: 断線検知コネクタ変換ケーブルは、ベースアダプタ、または変換アダプタDINレール取付け金具への固定が必要です。

AnS/Q リニューアル機器

(三菱電機エンジニアリング株式会社製)

■ベースアダプター一覧

AnS/QnASシリーズベースユニットの取付け穴を利用し、Qシリーズのベースユニットを取り付けられるアダプタです。固定台付き変換アダプタおよび断線検知機能付き温度調節ユニット用断線検知コネクタ変換ケーブルを固定する際にも必要となります。

基本ベースユニット用

AnS/QnASシリーズ 基本ベースユニット形名	Qシリーズ 基本ベースユニット形名	ベースアダプタ形名*1
A1S38B/A1S38HB	Q38B	ERNT-ASQB38N(-S1)*2)
A1S35B	Q35B	ERNT-ASQB35N(-S1)*2)
A1S33B	Q33B	ERNT-ASQB33N(-S1)*2)
A1S32B	Q33B	ERNT-ASQB32N
A1SJCPU	Q00UJCPU	ERNT-ASQB00JN
A1SJCPU-S3		
A1SJHCPU		

*1：従来型の形名に「N」が付かないベースアダプタは「固定台付き変換アダプタ」を使用できません。
*2：形名に「-S1」が付くベースアダプタは、Qシリーズ基本ベースユニットと「QA1S51B」が装着可能です。

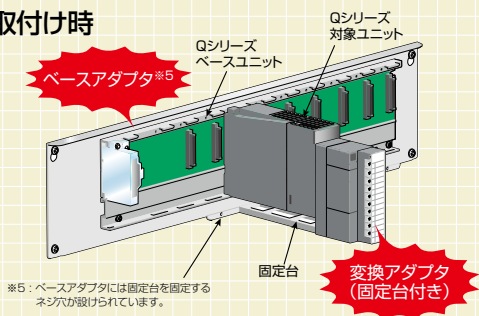
増設ベースユニット用

AnS/QnASシリーズ 増設ベースユニット形名	Qシリーズ 増設ベースユニット形名	ベースアダプタ形名*3
A1S68B	Q68B	ERNT-ASQB68N
A1S65B	Q65B	ERNT-ASQB65N
A1S58B	Q68B*4	ERNT-ASQB58N
A1S55B	Q55B	ERNT-ASQB55N
A1S52B	Q52B	ERNT-ASQB52N

*3：従来型の形名に「N」が付かないベースアダプタは「固定台付き変換アダプタ」を使用できません。
*4：電源ユニットの装着が必要となるベースユニットへの置換えです。

■変換アダプタの取付け方法

盤面取付け時



*5：ベースアダプタには固定台を固定するネジが設けられています。

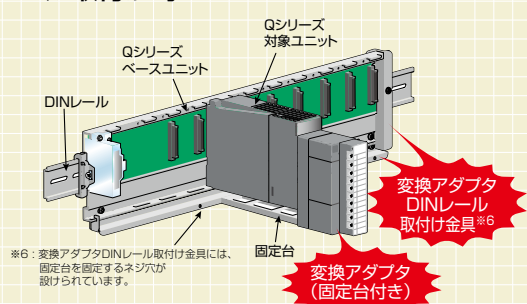
■変換アダプタDINレール取付け金具一覧

DINレール取付け時、Qシリーズベースユニットに固定台付き変換アダプタを固定するための金具です。断線検知機能付き温度調節ユニット用断線検知コネクタ変換ケーブルの固定にも使用します。

基本/増設	AnS/QnASシリーズ ベースユニット形名	Qシリーズ ベースユニット形名	変換アダプタ DINレール取付け金具形名
基本	A1S38B/A1S38HB	Q38B	ERNT-ASQDIN3868
増設	A1S68B A1S58B	Q68B Q68B	
基本	A1S35B	Q35B	ERNT-ASQDIN356500J
増設	A1S65B	Q65B	
基本	A1SJCPU A1SJCPU-S3 A1SJHCPU	Q00UJCPU	ERNT-ASQDIN3355
	A1S33B	Q33B	
	A1S32B	Q33B	
増設	A1S55B	Q55B	ERNT-ASQDIN52
	A1S52B	Q52B	

注：QシリーズベースユニットをDINレールに装着するには、別途、三菱電機(株)製のDINレール取付け用アダプタ(Q6DIN1、Q6DIN2またはQ6DIN3)が必要です。

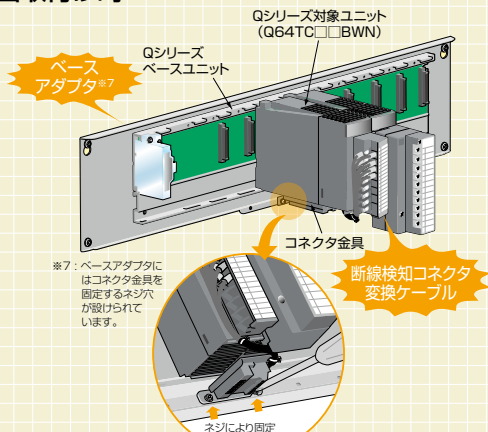
DINレール取付け時



*6：変換アダプタDINレール取付け金具には、固定台を固定するネジ穴が設けられています。

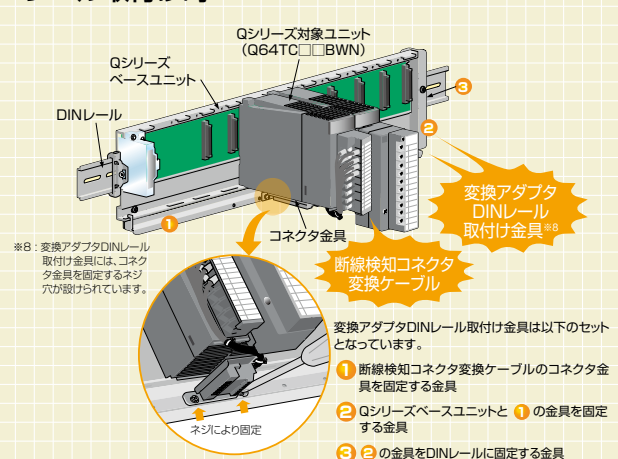
■断線検知コネクタ変換ケーブルの取付け方法

盤面取付け時



*7：ベースアダプタにはコネクタ金具を固定するネジ穴が設けられています。

DINレール取付け時



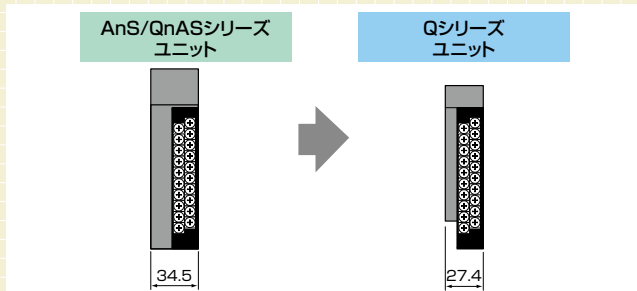
*8：変換アダプタDINレール取付け金具には、コネクタ金具を固定するネジ穴が設けられています。

変換アダプタDINレール取付け金具は以下のセットとなっています。

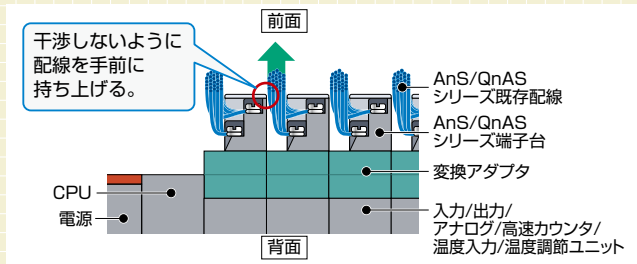
- 1 断線検知コネクタ変換ケーブルのコネクタ金具を固定する金具
- 2 Qシリーズベースユニットと1の金具を固定する金具
- 3 2の金具をDINレールに固定する金具

■ベースアダプタ、変換アダプタDINレール取付け金具をご使用いただく場合の注意点

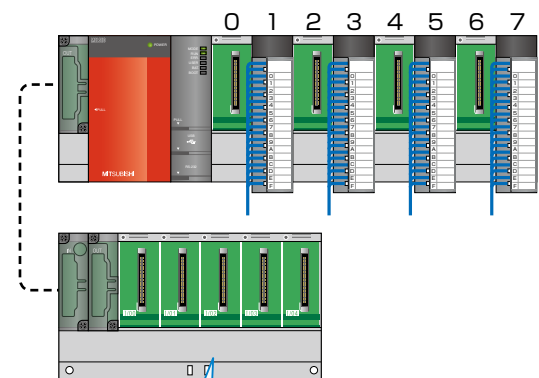
- ユニット幅寸法が小さくなり（34.5mm→27.4mm）配線領域が小さくなりますので、取付け上の確認が必要です。
- 配線を持ち上げても干渉する場合は、1スロット分を空けて配線領域を確保するようにしてください。



- 装着ユニットに配線が干渉する場合は、配線を手前に持ち上げるなどして干渉しないようにしてください。



(例) Q38Bの場合



装着スロットが足りない場合は、増設ベースユニットをご使用ください。

- 端子台カバーは、変換アダプタ付属の端子台カバーに付け替えてください。

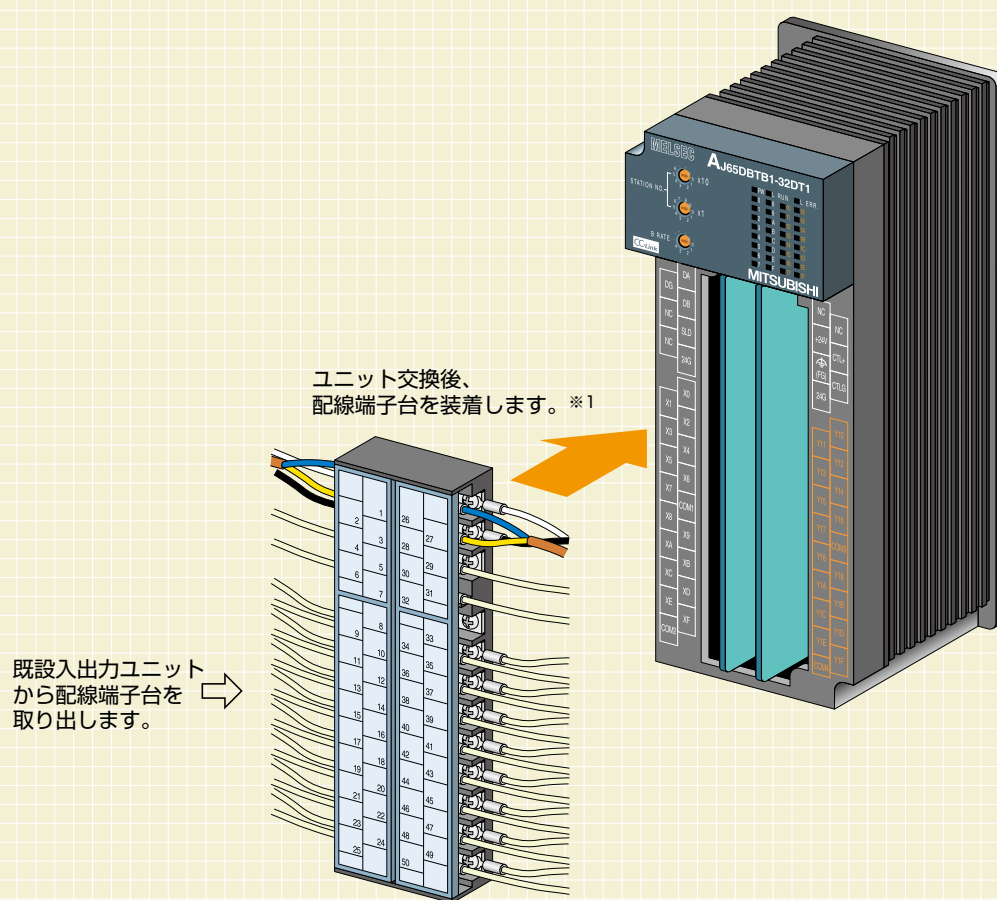
「FAグッズ:リニューアル機器/省配線・省工数機器」の詳細仕様、注意・制約事項につきましては、関連カタログ(P.3参照)・取扱説明書などをご確認いただけますようお願いいたします。
不明点につきましては、三菱電機エンジニアリング株式会社技術サポート(P.2、3参照)にお問い合わせください。



A2C形状CC-LinkリモートI/Oユニット

既設のA2CCPU、MELSECNET/MINI-S3入出力ユニットを、そのままCC-Linkユニットに置換え可能!

- A2C入出力ユニットと同一形状(同一取付け寸法)のため、取付け穴加工が不要です。
既設ユニットの配線端子台をそのままCC-Linkユニットへ装着することで、ユニット交換時の配線変更の負担を軽減します。



※1：通信線、電源線は、配線変更が必要です。

生産中止機種	置換え機種	
	形名	ユニット仕様
AX41C AX81C	AJ65DBTB1-32D	端子台形 DC24V入力 32点 プラスコモン/マイナスコモン共用タイプ
AY51C	AJ65DBTB1-32T1	端子台形 0.5Aトランジスタ出力 32点 シンクタイプ
AX40Y50C	AJ65DBTB1-32DT1	端子台形 DC24V入力 16点 プラスコモンタイプ 0.5Aトランジスタ出力 16点 シンクタイプ
AY13C	AJ65DBTB1-32R	端子台形 リレー出力 32点
AX40Y10C AX80Y10C	AJ65DBTB1-32DR	端子台形 DC24V入力 16点 プラスコモン/マイナスコモン共用タイプ リレー出力 16点

置換えを容易にするユニット群

置換えを容易にするユニットを品揃え

■DC入力ユニット

近接センサなど、定格入力電流が6mAの既設外部機器はそのまま、入力ユニットの置換えができます。既設の外部配線(コネクタ)をそのまま流用できます。

コモンタイプ	AnS/QnASシリーズ形名	Qシリーズ置換え形名
プラスコモン	A1SX41*1、A1SX41-S2	QX41-S2
	A1SX42*2*3、A1SX42-S2*3	
マイナスコモン	A1SX81*1、A1SX81-S2	QX81-S2

※1：DC12Vで使用する場合はQX71を使用してください。

※2：DC12Vで使用する場合はQX72を使用してください。

※3：33点以上を使用する場合はQX41-S2を2台使用してください。

■リレー出力ユニット(全点独立接点)

リレー出力ユニットを組み込んだMELSEC-AnS/QnASシリーズのシステムをMELSEC-Lシリーズのシステムへスムーズに置換えできます。

タイプ	AnS/QnASシリーズ形名	Lシリーズ置換え形名
リレー出力	A1SY18A、A1SY18AEU	LY18R2A

■トライアック出力ユニット(全点独立)

トライアック出力ユニットを組み込んだMELSEC-AnS/QnASシリーズのシステムをMELSEC-Lシリーズのシステムへスムーズに置換えできます。

タイプ	AnS/QnASシリーズ形名	Lシリーズ置換え形名
トライアック出力	A1SY28A、A1SY28EU	LY28S1A

■温度調節ユニット

既設の温度センサはそのまま、温調ユニットの置換えができます。

温度センサ	AnS/QnASシリーズ形名	Lシリーズ置換え形名	Qシリーズ置換え形名
熱電対	A1S64TCTT-S1、A1S62TCTT-S2	L60TCTT4	Q64TCTTN
	A1S64TCTRT		
熱電対 (断線検知機能付き)	A1S64TCTTBW-S1、A1S62TCTTBW-S2	L60TCTT4BW	Q64TCTTBWN
	A1S64TCTRTBW		
白金測温抵抗体	A1S64TCRT-S1、A1S62TCRT-S2	L60TCRT4	Q64TCRTN
	A1S64TCTRT		
白金測温抵抗体 (断線検知機能付き)	A1S64TCRTBW-S1、A1S62TCRTBW-S2	L60TCRT4BW	Q64TCRTBWN
	A1S64TCTRTBW		

■高速カウンタユニット

既設エンコーダなどパルス発生機器の仕様を意識することなく置換えができます。

計数速度切替設定	AnS/QnASシリーズ形名	Qシリーズ置換え形名
50KPPS時	A1SD61	QD62-H01
10KPPS時		QD62-H02

※A1SD61の「リミットスイッチ出力機能」は、QD62-H01/H02の「一致出力機能」で代用を検討ください。

■アナログ出力位置決めユニット

高分解能エンコーダを使用したサーボモータ制御を実現、従来比10倍の最大入力パルス1Mppsに対応しています。サーボアンプなど既設外部機器はそのまま、位置決めユニットの置換えができます。

位置決めモード	AnS/QnASシリーズ形名	Qシリーズ置換え形名
位置制御モード	A1SD70	QD73A1
速度・位置制御切替モード		

注1：置換え前のユニットと置換え後のユニットで占有点数が異なる場合があります。

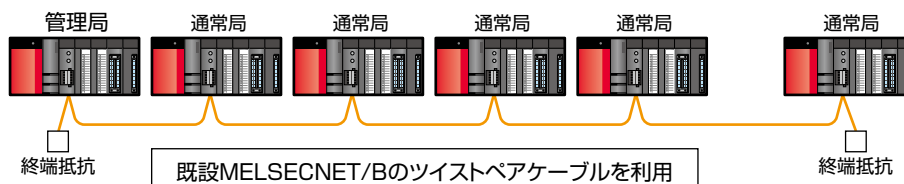
占有点数が異なる場合は、装着するユニットの入出力信号の先頭番号を置換え前のユニットと同じ番号に設定することにより、置換え前のプログラムが流用できます。

MELSECNET/Hネットワークユニット

既設の配線はそのまま、
QシリーズMELSECNET/H(10)システムへ置換え可能!

■MELSECNET/Hネットワークユニット(ツイストバスタイプ)

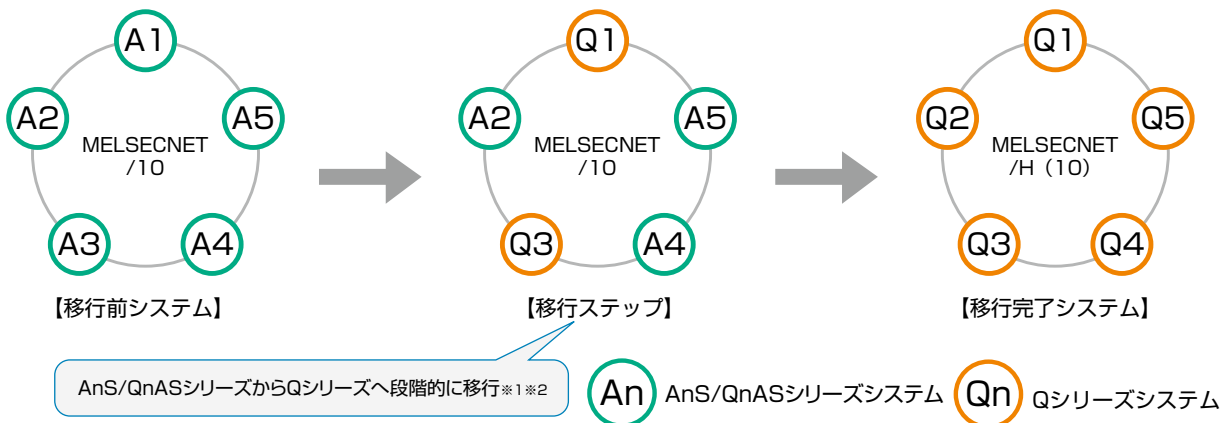
AnS/QnASシリーズ(MELSECNET/B)からQシリーズへ置換え時、既設MELSECNET/Bのツイストペアケーブルを利用してMELSECNET/Hネットワークシステムを構築できます。これにより、ネットワークケーブルの敷設変更なしで置換えができます。さらに、既設のツイストペアケーブルをCC-Linkケーブルに置き換えることで、より高速なネットワークシステムを構築できます。



形名	仕様
QJ71NT11B	MELSECNET/Hネットワークユニット(ツイストバスタイプ)

■MELSECNET/Hネットワークユニット(光ループタイプ、同軸バスタイプ)

既設のMELSECNET/10システム(光ループタイプ、同軸バスタイプ)のAnS/QnASシリーズをQシリーズへ段階的に置き換えられます。^{*1} PC間ネット、リモートI/Oネットとも、既設のAnS/QnASシリーズを順次Qシリーズへ置き換えていただくことにより、Qシリーズへの移行が完了できます。^{*1}



●PC間ネット用・リモートI/Oネット用

AnS/QnASシリーズ形名	Qシリーズ置換え形名
A1SJ71LP21 A1SJ71QLP21	QJ71LP21-25 ^{*2}
A1SJ71QLP21S	QJ71LP21S ^{*2}
A1SJ71BR11 A1SJ71QBR11 A1SJ71LR21 ^{*1} A1SJ71QLR21 ^{*1}	QJ71BR11 ^{*2}

●リモートI/Oネット用

AnS/QnASシリーズ形名	Qシリーズ置換え形名
A1SJ72QLP25	QJ72LP25-25 ^{*3}
A1SJ72QBR15	QJ72BR15 ^{*3}
A1SJ72QLR25 ^{*1}	QJ72BR15

^{*1} : QシリーズはMELSECNET/10同軸ループシステムに対応していないため、同軸ループタイプのMELSECNET/10システムはQシリーズに段階的に置き換えできません。同軸ループシステムから同軸バスシステム(または、光ループシステム、ツイストバスシステム)へ一括で置き換えてください。

^{*2} : QシリーズのリモートI/Oネットマスタ局はA/QnASシリーズのリモートI/O局に対応していません。A/QnASシリーズのリモートI/O局を全てQシリーズに置き換えてから、A/QnASシリーズのマスタ局をQシリーズに置き換えてください。

^{*3} : A/QnASシリーズとQシリーズを混在する場合は、シリアルNo.上5桁"15012"以降の製品を使用してください。

機種一覧

■ 置換えサポート機種一覧

以下価格に消費税は含まれておりません。

Lシリーズスペースユニット

タイプ	形名	概要	標準価格(円)
Lシリーズスペースユニット	LG69	AnS/QnASシリーズのユニットをLシリーズへ置換え時に配線スペースを確保するためのユニット	13,200

増設ベースユニット

タイプ	形名	概要	標準価格(円)
QA(1S)増設ベースユニット	QA1S51B	1スロット AnSシリーズユニット装着用(電源ユニット装着不要)	22,000

AnSサイズ版Qラージベースユニット

タイプ	形名	概要	標準価格(円)
AnSサイズ版Qラージ 基本ベースユニット	Q35BLS	5スロット Qシリーズユニット装着用 盤面取付けタイプ	33,000
	Q38BLS	8スロット Qシリーズユニット装着用 盤面取付けタイプ	46,200
	Q35BLS-D	5スロット Qシリーズユニット装着用 DINレール取付けタイプ	33,000
	Q38BLS-D	8スロット Qシリーズユニット装着用 DINレール取付けタイプ	46,200
AnSサイズ版Qラージ 増設ベースユニット	Q65BLS	5スロット Qシリーズユニット装着用 盤面取付けタイプ	37,500
	Q68BLS	8スロット Qシリーズユニット装着用 盤面取付けタイプ	56,000
	Q65BLS-D	5スロット Qシリーズユニット装着用 DINレール取付けタイプ	37,500
	Q68BLS-D	8スロット Qシリーズユニット装着用 DINレール取付けタイプ	56,000
	Q55BLS	5スロット Qシリーズユニット装着用 盤面取付けタイプ 電源ユニット装着不要	33,000
	Q55BLS-D	5スロット Qシリーズユニット装着用 DINレール取付けタイプ 電源ユニット装着不要	33,000
AnSサイズ版Qラージ ブラックカバー	QG69LS	AnSサイズ版QラージベースユニットにQシリーズユニット装着時の隙間調整用	2,200

A2C形状CC-LinkリモートI/Oユニット

タイプ	形名	概要	標準価格(円)
CC-Linkリモート I/Oユニット (ネジ2ピース端子台 防塵タイプ)	AJ65DBTB1-32D	入力32点:DC24V(プラス共通/マイナス共通共用タイプ)1線式 端子台タイプ 応答時間10ms	53,000
	AJ65DBTB1-32T1	出力32点:DC12/24V(0.5A)トランジスタ出力(シンクタイプ)1線式 端子台タイプ(低漏れ電流タイプ)	57,000
	AJ65DBTB1-32DT1	入力16点:DC24V(プラス共通)1線式 応答時間10ms 出力16点:DC24V(0.5A)トランジスタ出力(シンクタイプ)1線式 端子台タイプ(低漏れ電流タイプ)	55,000
	AJ65DBTB1-32R	出力32点:DC24V/AC240V(2A)リレー出力1線式 端子台タイプ	71,500
	AJ65DBTB1-32DR	入力16点:DC24V(プラス共通/マイナス共通共用タイプ) 応答時間10ms 出力16点:DC24V/AC240V(2A)リレー出力1線式 端子台タイプ	62,500

機種一覧

以下価格に消費税は含まれておりません。

DC入力ユニット

タイプ	形名	概要	標準価格(円)
DC入力ユニット	QX41-S2	32点 DC24V 定格入力電流 約6mA プラスコモンタイプ 32点/1コモン 応答時間 OFF→ON ON→OFF: 1ms/5ms/10ms/20ms/70ms以下 (いずれもCPUのパラメータで設定、初期設定は10ms)	36,300
	QX81-S2	32点 DC24V 定格入力電流 約6mA マイナスコモンタイプ 32点/1コモン 応答時間 OFF→ON ON→OFF: 1ms/5ms/10ms/20ms/70ms以下 (いずれもCPUのパラメータで設定、初期設定は10ms)	45,000

リレー出力ユニット(全点独立接点)

タイプ	形名	概要	標準価格(円)
リレー出力ユニット	LY18R2A	8点、DC24V/AC240V、2A/1点、8A/1ユニット、応答時間: 12ms以下、コモンなし(全点独立接点)	26,500

トライアック出力ユニット(全点独立)

タイプ	形名	概要	標準価格(円)
トライアック出力ユニット	LY28S1A	8点、AC100~240V、1A/1点、8A/1ユニット、応答時間: 1ms+0.5サイクル以下、コモンなし(全点独立)	32,000

温度調節ユニット

タイプ	形名	概要	標準価格(円)
温度調節ユニット	Q64TCRTN	4チャンネル 白金測温抵抗体(Pt100, JPt100) ヒータ断線検知なし サンプリング周期:0.5s/4チャンネル 18端子台	110,000
	Q64TCRTBWN	4チャンネル 白金測温抵抗体(Pt100, JPt100) ヒータ断線検知あり サンプリング周期:0.5s/4チャンネル 18端子台×2	143,000
	Q64TCTTN	4チャンネル 熱電対(K, J, T, B, S, E, R, N, U, L, PLII, W5Re/W26Re) サンプリング周期:0.5s/4チャンネル 18端子台 ヒータ断線検知なし	110,000
	Q64TCTTBWN	4チャンネル 熱電対(K, J, T, B, S, E, R, N, U, L, PLII, W5Re/W26Re) サンプリング周期:0.5s/4チャンネル 18端子台×2 ヒータ断線検知あり	143,000

高速カウンタユニット

タイプ	形名	概要	標準価格(円)
高速カウンタユニット	QD62-H01	A1SD61(50KPPS設定)と入力フィルタ方式 計数速度が同一の置換え用高速カウンタユニット	82,500
	QD62-H02	A1SD61(10KPPS設定)と入力フィルタ方式 計数速度が同一の置換え用高速カウンタユニット	82,500

アナログ出力位置決めユニット

タイプ	形名	概要	標準価格(円)
アナログ出力位置決めユニット	QD73A1	1軸アナログ出力タイプ 位置制御モード(位置決め制御・2速台形位置決め制御) 速度・位置制御切換えモード	104,000

MELSECNET/H ネットワークユニット

タイプ	形名	概要	標準価格(円)
MELSECNET/H ツイストペアタイプ ネットワークユニット	QJ71NT11B	MELSECNET/H ツイストペアケーブル 一重バス 管理局/通常局用	110,000

■ 継続生産機種

タイプ	形名	標準価格(円)
バッテリー	A6BAT	4,400
	A8BAT	45,000

■ 生産中止機種

	生産中止機種	生産中止時期
AnS/QnAS シリーズ	●MELSECNET(Ⅱ)(A1SJ71AP21-S3)、 MELSECNET/Bデータリンク用リモートI/Oユニット(A1SJ72T25B) ●MELSECNET/MINI-S3 AnS(小形)マスタユニット(A1SJ71PT32-S3)	2008年9月末日
	●CPUユニット ●電源ユニットの一部機種 ●ベースユニット ●入出力ユニット ●特殊機能ユニット ●ネットワークユニットほか ●関連する製品(生産中止対象となるAnS/QnASシリーズの製品を母体とする受注生産品)	2014年9月末日
	●MELSECNET/I0ネットワークユニット	2019年3月末日
	●CC-Linkユニット(A1SJ61BT11、A1SJ61QBT11)	2023年3月末日
	●電源ユニット(A1S61PN、A1S63P)	2024年4月末日
	●大容量バッテリー(A10BAT)	
リモート I/Oユニット	●MELSECNET/MINI-S3入出力ユニット	2008年9月末日
	●MELSEC-I/OLINK入出力ユニット	2014年9月末日

■ 修理対応期間

	2005	'06	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23	'24	'25	'26	'27	'28	'29	'30	'31					
2008年9月末日 生産中止機種				▲	← 修理対応(7年間) →							▲																				
					2008/9 生産中止																											
2014年9月末日 生産中止機種											▲	← 修理対応(7年間) →							▲													
2019年3月末日 生産中止機種																																
2023年3月末日 生産中止機種																																
2024年4月末日 生産中止機種																																

MELSEC-AnS/QnASシリーズおよびその他機種の継続生産機種・生産中止機種の詳細と修理対応につきましては、テクニカルニュース(P.5)をご参照ください。

サポート体制

インターネットサービス

L/Qシリーズへの置換えサポートツールの情報、ほか 三菱電機FA機器のあらゆる情報を知り尽くすデータベース

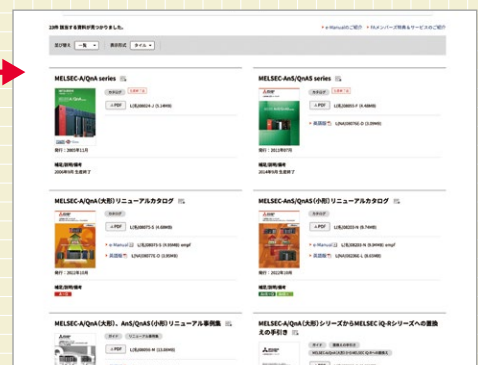
テクニカルニュースや置換えの手引きなど、
Qシリーズへの置換えサポートツールの情報が手軽に入手できます。

三菱電機FAサイト www.MitsubishiElectric.co.jp/fa

[FAトップ] > [製品情報] > [制御機器] > [シーケンサ MELSEC]



[FAトップ] > [ダウンロード] >
[カタログ] > [MELSEC-Aシリーズ]



[FAトップ] > [製品情報] > [MELSEC-Aシリーズ] >
[リニューアル]



充実のサポート体制で、FAの快適稼動にお応えします

国内サポート(三菱電機サービスネットワーク)

三菱電機システムサービス株式会社が**24時間365日受付体制**にてお応えします。

三菱電機FA機器製品サービス拠点一覧

アフターサービス拠点名	住所	電話番号	FAX番号
北日本支社	〒983-0013 仙台市宮城野区中野1-5-35	022-353-7814	022-353-7834
北日本支社 北海道支店	〒004-0041 札幌市厚別区大谷地東2-1-18	011-890-7515	011-890-7516
首都圏第2支社	〒108-0022 東京都港区海岸3-9-15	03-3454-5521	03-5440-7783
神奈川機器サービスステーション	〒224-0053 横浜市中区池辺町3963-1	045-938-5420	045-935-0066
関東機器サービスステーション	〒338-0822 さいたま市桜区中島2-21-10	048-859-7521	048-858-5601
新潟機器サービスステーション	〒950-0983 新潟市中央区神道寺1-4-4	025-241-7261	025-241-7262
中部支社	〒461-8675 名古屋市中区大幸南1-1-9	052-722-7601	052-719-1270
静岡機器サービスステーション	〒422-8058 静岡市駿河区中原877-2	054-287-8866	054-287-8484
中部支社 北陸支店	〒920-0811 金沢市小坂町北255	076-252-9519	076-252-5458
関西支社	〒531-0076 大阪市北区大淀中1-4-13	06-6458-9728	06-6458-6911
京滋機器サービスステーション	〒617-8550 長岡京市馬場園所1番三菱電機(株)京都地区構内 240工場	075-874-3614	075-874-3544
姫路機器サービスステーション	〒670-0996 姫路市土山2-234-1	079-269-8845	079-294-4141
中四国支社	〒732-0802 広島市南区大州4-3-26	082-285-2111	082-285-7773
岡山機器サービスステーション	〒700-0951 岡山市北区田中606-8	086-242-1900	086-242-5300
中四国支社 四国支店	〒760-0072 高松市花園町1-9-38	087-831-3186	087-833-1240
九州支社	〒812-0007 福岡市博多区東比恵3-12-16	092-483-8208	092-483-8228

修理受付

通常受付体制 平日9:00～17:30の間は、全国の支社・支店・サービスステーションでお受けいたします。

時間外受付体制 休日・夜間は、時間外専用電話でお受けいたします。

時間外修理受付窓口 ☎ **052-719-4337** [受付時間帯 月～金 : 17:30～翌9:00
土日祝日 : 終日]

トレーニングスクール

三菱電機FAテクニカルセンターでは、専門技術者によるFA機器の詳しい解説、お客様ご自身での実機操作体験などによるトレーニングスクールと、豊富なラインアップを誇る三菱電機FA関連製品の展示を開催しております。お気軽にお立ち寄りください。

	FAテクニカルセンター	◎トレーニングの詳細については、三菱電機FAサイトをご覧ください。 www.MitsubishiElectric.co.jp/fa FAトップ > サービス・サポート > トレーニングスクール (FA機器・配電制御機器)

東京FATEC

東京都台東区台東1-30-7
東日本FANソリューションセンター秋葉原アイマークビル2F
TEL.(03)5812-1018

札幌FATEC

札幌市中央区大通西3-11 北洋ビル3F
TEL.(011)212-3794(北海道支社)

広島FATEC

広島市中区中町7-32 ニッセイ広島ビル8F
TEL.(082)248-5327(中国支社)

名古屋FATEC

名古屋市中区矢田南5-1-14
三菱電機名古屋製作所FAコミュニケーションセンター3F
TEL.(052)721-2403

仙台FATEC

仙台市青葉区花京院1-1-20 花京院スクエア11F
TEL.(022)216-4546(東北支社)

高松FATEC

高松市寿町1-1-8 日本生命高松駅前ビル6F
TEL.(087)825-0055(四国支社)

大阪FATEC

大阪市北区堂島2-2-2 近鉄堂島ビル4F
TEL.(06)6347-2970

金沢FATEC

金沢市広岡1-2-14 コーワビル3F
TEL.(076)233-5501(北陸支社)

福岡FATEC

福岡市博多区東比恵3-12-16 東比恵スクエアビル2F
TEL.(092)721-2224(九州支社)

福山製作所トレーニングスクール
広島県福山市緑町1-8 TEL.(084)926-8005

世界に広がるグローバルネットワークで、 お客様のモノづくりをフルサポートしています

海外サポート(グローバル海外FAセンター)

EMEA

欧州FAセンター

MITSUBISHI ELECTRIC EUROPE B.V. Polish Branch
Tel: +48-12-347-65-00

ドイツFAセンター

MITSUBISHI ELECTRIC EUROPE B.V. German Branch
Tel: +49-2102-486-0 / Fax: +49-2102-486-7780

英国FAセンター

MITSUBISHI ELECTRIC EUROPE B.V. UK Branch
Tel: +44-1707-27-8780 / Fax: +44-1707-27-8695

チェコFAセンター

MITSUBISHI ELECTRIC EUROPE B.V. Czech Branch
Tel: +420-734-402-587

イタリアFAセンター

MITSUBISHI ELECTRIC EUROPE B.V. Italian Branch
Tel: +39-039-60531 / Fax: +39-039-6053-312

トルコFAセンター

MITSUBISHI ELECTRIC TURKEY ELEKTRIK URUNLERI A.S.
Tel: +90-216-969-2500 / Fax: +90-216-661-4447

Asia-Pacific

China

北京FAセンター

MITSUBISHI ELECTRIC AUTOMATION (CHINA) LTD. Beijing FA Center
Tel: +86-10-6518-8830 / Fax: +86-10-6518-2938

広州FAセンター

MITSUBISHI ELECTRIC AUTOMATION (CHINA) LTD. Guangzhou FA Center
Tel: +86-20-8923-6730 / Fax: +86-20-8923-6715

上海FAセンター

MITSUBISHI ELECTRIC AUTOMATION (CHINA) LTD. Shanghai FA Center
Tel: +86-21-2322-3030 / Fax: +86-21-2322-3000

天津FAセンター

MITSUBISHI ELECTRIC AUTOMATION (CHINA) LTD. Tianjin FA Center
Tel: +86-22-2813-1015 / Fax: +86-22-2813-1017

台北FAセンター

MITSUBISHI ELECTRIC AUTOMATION (TAIWAN) CO., LTD.
Tel: +886-2-2299-9917 / Fax: +886-2-2299-9963

Korea

韓国FAセンター

MITSUBISHI ELECTRIC AUTOMATION KOREA CO., LTD.
Tel: +82-2-3660-9632 / Fax: +82-2-3664-0475

Thailand

タイFAセンター

MITSUBISHI ELECTRIC FACTORY AUTOMATION (THAILAND) CO., LTD.
Tel: +66-2682-6522-31 / Fax: +66-2682-6020

ASEAN

アセアンFAセンター

MITSUBISHI ELECTRIC ASIA PTE. LTD.
Tel: +65-6470-2480 / Fax: +65-6476-7439

Malaysia

マレーシアFAセンター

Malaysia FA Center
Tel: +60-3-7626-5080 / Fax: +60-3-7658-3544

Indonesia

インドネシアFAセンター

PT. MITSUBISHI ELECTRIC INDONESIA Cikarang Office
Tel: +62-21-2961-7797 / Fax: +62-21-2961-7794

Vietnam

ハノイFAセンター

MITSUBISHI ELECTRIC VIETNAM COMPANY LIMITED Hanoi Branch Office
Tel: +84-24-3937-8075 / Fax: +84-24-3937-8076

ホーチミンFAセンター

MITSUBISHI ELECTRIC VIETNAM COMPANY LIMITED
Tel: +84-28-3910-5945 / Fax: +84-28-3910-5947

Philippines

フィリピンFAセンター

MELCO Factory Automation Philippines Inc.
Tel: +63-(0)2-8256-8042

India

インド・アーメダバードFAセンター

MITSUBISHI ELECTRIC INDIA PVT. LTD. Ahmedabad Branch
Tel: +91-7965120063

インド・バンガロールFAセンター

MITSUBISHI ELECTRIC INDIA PVT. LTD. Bangalore Branch
Tel: +91-80-4020-1600 / Fax: +91-80-4020-1699

インド・チェンナイFAセンター

MITSUBISHI ELECTRIC INDIA PVT. LTD. Chennai Branch
Tel: +91-4445548772 / Fax: +91-4445548773

インド・コイंबトールFAセンター

MITSUBISHI ELECTRIC INDIA PVT. LTD. Coimbatore Branch
Tel: +91-422-438-5606

インド・グルガオンFAセンター

MITSUBISHI ELECTRIC INDIA PVT. LTD. Gurgaon Head Office
Tel: +91-124-463-0300 / Fax: +91-124-463-0399

インド・プネFAセンター

MITSUBISHI ELECTRIC INDIA PVT. LTD. Pune Branch
Tel: +91-20-2710-2000 / Fax: +91-20-2710-2100

Americas

USA

北米FAセンター

MITSUBISHI ELECTRIC AUTOMATION, INC.
Tel: +1-847-478-2469 / Fax: +1-847-478-2253

Mexico

メキシコシティFAセンター

MITSUBISHI ELECTRIC AUTOMATION, INC. Mexico Branch
Tel: +52-55-3067-7500

メキシコFAセンター

MITSUBISHI ELECTRIC AUTOMATION, INC. Queretaro Office
Tel: +52-442-153-6014

メキシコ・モンテレイFAセンター

MITSUBISHI ELECTRIC AUTOMATION, INC. Monterrey Office
Tel: +52-55-3067-7599

Brazil

ブラジルFAセンター

MITSUBISHI ELECTRIC DO BRASIL COMERCIO E SERVICOS LTDA.
Tel: +55-11-4689-3000 / Fax: +55-11-4689-3016

FA機器の様々な情報がここに集約します

三菱電機FAサイト

三菱電機FA機器に関する様々な情報をカバーした「三菱電機FAサイト」。1日のアクセス数が10万件を超える、お客様から圧倒的な支持を得ているwebサイトです。製品情報、FA用語集、セミナー情報など、FA機器の様々な情報を満載し、全ての三菱電機FA機器ユーザーを強力にサポートします。

■ 充実したコンテンツ

- 詳しい製品仕様など実務者向けの情報を掲載
- カタログ、マニュアル、ソフトウェア、CADデータなど各種資料をダウンロード可能
- 三菱電機FA eラーニングやFA用語辞典といったサポートツールを数多く掲載
- 三菱電機FA製品に関する最新情報を随時更新



三菱電機FAサイトホームページURL

www.MitsubishiElectric.co.jp/fa

三菱電機FA eラーニング

「eラーニング」は、インターネット環境を活用したWebベースでの学習方式をいいます。「三菱電機FA eラーニング」は、勤務先・外出先・自宅のどこからでも、弊社FA製品利用のトレーニングが行える自習型のオンライン教育システムです。いつでも、どこでもリアルタイムに受講でき、カリキュラムを受講者の希望スケジュールに合わせて、学習できる環境を提供します。



■ はじめてのFA機器コース

三菱電機FA製品を初めて使うお客様向けのコースです。製品の概要を短時間で習得できます。

■ 基礎、応用コース

様々なお客様のレベルに合わせたeラーニングを提供しています。アニメーションや動画を活用した「わかりやすい」トレーニングを、いつでもどこからでも受講できます。

三菱電機FA ソーシャルネットワーキングサービス(SNS)

製品や使用事例、展示会などの情報をわかりやすくご案内しています。

■ YouTube



三菱電機FA公式チャンネル
youtube.com/MitsubishiElectricFA



■ X



三菱電機FA公式アカウント
@ MitsubishiFA_JP
twitter.com/MitsubishiFA_JP



■ Facebook



三菱電機FA公式Facebookページ
三菱電機FA
facebook.com/MitsubishiElectricFA.JP



■ LinkedIn



三菱電機FA公式LinkedInページ
Mitsubishi Electric [FA] Global
linkedin.com/company/mitsubishi-electric-fa-global/



必要な情報を素早く、確実に閲覧できます

e-Manual Viewer

e-Manual Viewerは、三菱電機FA製品のマニュアルなど、FA関連のお客様に最適化されたドキュメントを閲覧できる電子書籍です。欲しい情報を素早く検索でき、製品導入やトラブルシュートにかかる時間を削減します。



■ 特長

- 最新マニュアルをその場で簡単にダウンロード
- 探したい情報を、マニュアル横断でスピーディーに検索
- 製品のハードウェア仕様などを、イラストから直感的に検索
- 本文中にノウハウ情報などを自由にメモでき、マニュアルをカスタマイズ
- ドキュメント共有機能により、複数人で最新マニュアルやノウハウなどを共有可能
- マニュアル記載のプログラム例を直接エンジニアリングソフトウェアへコピー可能
- 一度ダウンロードしたe-Manualは、オフラインで使用可能

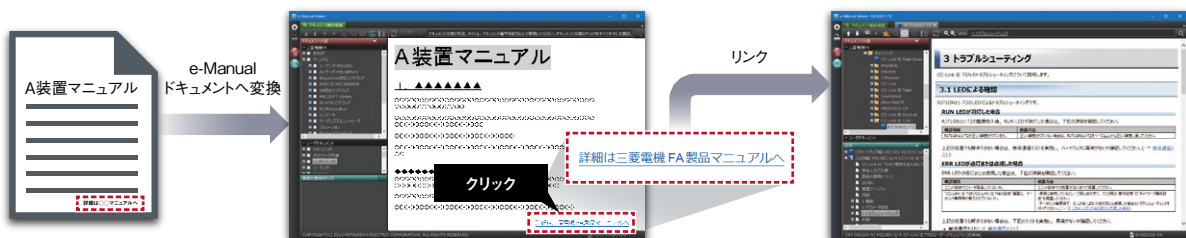
Windows®対応 「三菱電機FAサイト」からダウンロード

三菱電機 e-Manual

検索

e-Manual Create

e-Manual Createは、WordファイルやCHMファイルをe-Manualドキュメントに変換するソフトウェアです。e-Manual Createを使用すれば、お客様の装置保守マニュアルなどから三菱電機FA製品e-Manualの様々な情報をダイレクトに参照でき、装置のトラブルシュート早期解決やドキュメント作成の工数削減を支援します。



Windows®対応 「三菱電機FAサイト」からダウンロード

三菱電機 e-Manual

検索

Adobe、Adobe Readerは、米国および他の国々における登録されたAdobeの登録商標または商標です。
Google Playは、Google LLCの商標です。
Microsoft、Internet Explorerは、マイクロソフトグループの企業の商標です。
QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
その他、本文中における会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。
本文中で、商標記号(™、®)は明記していない場合があります。

- 置換えの手引き、カタログ、事例集に示す製品の置換えに際しましては、該当製品のマニュアルを参照いただき、詳細仕様、使用上の注意事項・制約などを確認の上、置換えを実施いただきますようお願いいたします。また、三菱電機エンジニアリング株式会社製品、三菱電機システムサービス株式会社製品につきましては、各製品のカタログなどを参照いただき、詳細仕様、使用上の注意事項・制約などを確認の上、使用していただきますようお願いいたします。弊社製品、三菱電機エンジニアリング株式会社製品、三菱電機システムサービス株式会社製品のマニュアル、カタログは、各「置換えの手引き」の付録に紹介しています。
- 本資料に記載している製品につきましては、お断りなしに仕様を変更することがありますのでご了承ください。

ご採用に際してのご注意

この資料は、製品の代表的な特長機能を説明した資料です。使用上の制約事項、ユニットの組合せによる制約事項などが全て記載されているわけではありません。

ご採用にあたりましては、必ず製品のマニュアルをお読みいただけますようお願い申し上げます。

当社の責に帰すことができない事由から生じた損害、当社製品の故障に起因するお客様での機会損失、逸失利益、当社の予見の有無を問わず特別の事情から生じた損害、二次損害、事故補償、当社製品以外への損傷およびその他の業務に対する保証については、当社は責任を負いかねます。

⚠️ 安全にお使いいただくために

- このカタログに記載された製品を正しくお使いいただくために、ご使用前に必ず「マニュアル」をお読みください。
- この製品は一般工業などを対象とした汎用品として製作されたもので、人命にかかわるような状況下で使用される機器あるいはシステムに用いられることを目的として設計、製造されたものではありません。
- この製品を原子力用、電力用、航空宇宙用、医療用、乗用移動体用の機器あるいはシステムなど特殊用途への適用をご検討の際には、当社の営業担当窓口までご照会ください。
- この製品は厳重な品質管理体制の下に製造しておりますが、この製品の故障により重大な事故または損失の発生が予測される設備への適用に際しては、バックアップやフェールセーフ機能をシステム的に設置してください。

三菱電機 汎用 シーケンサ MELSEC-AnS/QnAS(小形)リニューアルカタログ

三菱電機株式会社

〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3(東京ビル)

お問合せは下記へどうぞ

本社機器営業部	〒110-0016	東京都台東区台東1-30-7(秋葉原アイマークビル)	(03)5812-1450
関西機器営業部	〒330-6034	さいたま市中央区新都心11-2(明治安田生命さいたま新都心ビル)	(048)600-5835
新潟支店	〒950-8504	新潟市中央区東大通2-4-10(日本生命新潟ビル8F)	(025)241-7227
神奈川機器営業部	〒220-8118	横浜市西区みなとみらい2-2-1(横浜ランドマークタワー)	(045)224-2624
北海道支社	〒060-0042	札幌市中央区大通西3-11(北洋ビル)	(011)212-3793
東北支社	〒980-0013	仙台市青葉区花京院1-1-20(花京院スクエア)	(022)216-4546
北陸支社	〒920-0031	金沢市広岡3-1-1(金沢パークビル)	(076)233-5502
中部支社	〒450-6423	名古屋市中村区名駅3-28-12(大名古屋ビルディング)	(052)565-3314
豊田支店	〒471-0034	豊田市小坂本町1-5-10(矢作豊田ビル)	(0565)34-4112
関西支社	〒530-8206	大阪市北区大深町4-20(グランフロント大阪 タワーA)	(06)6486-4122
中国支社	〒730-8657	広島市中区中町7-32(ニッセイ広島ビル)	(082)248-5348
四国支社	〒760-8654	高松市寿町1-1-8(日本生命高松駅前ビル)	(087)825-0055
九州支社	〒810-8686	福岡市中央区天神2-12-1(天神ビル)	(092)721-2247

三菱電機 FA

検索

メンバー登録無料!

インターネットによる情報サービス「三菱電機FAサイト」

三菱電機FAサイトでは、製品や事例などの技術情報に加え、トレーニングスクール情報や各種お問い合わせ窓口をご提供しています。また、メンバー登録いただくマニュアルやCADデータ等のダウンロード、eラーニングなどの各種サービスをご利用いただけます。

FA Web Shop

すぐ欲しい、今使いたいを、即注文! 「三菱電機FAソリューションWeb Shop」お客様のものづくりをトータルでご支援する便利なウェブショップです。FA製品の小形・緊急でのご注文だけでなく、ものづくりや働き方の変化に対応したサービス・トレーニングスクールもご提供します。


<https://fa-webshop.MitsubishiElectric.co.jp/>

電話技術相談窓口 受付時間*1 月曜～金曜 9:00～19:00、土曜・日曜・祝日 9:00～17:00

対象機種	電話番号	自動窓口案内 選択番号*7	対象機種	電話番号	自動窓口案内 選択番号*7
自動窓口案内	052-712-2444	—	FAセンサ MELSENSOR	052-799-9495*2	6
エッジコンピューティング製品	052-712-2370*2	2*4	表示器 GOT	052-712-2417	4*1 4*2 1*2 1*2
ソリューションソフトウェア	—*9	—	サーボ/位置決めユニット/ モーションユニット/ シンプルモーションユニット/ モーションコントローラ/ センシングユニット/ 組み込み型サーボシステム コントローラ	052-712-6607	1*2 1*1 1*1 1*1 1*1 1*2 1*2 1*2
MELSEC iQ-R/Q/Lシーケンサ (CPU内蔵Ethernet機能などネットワークを除く)	052-711-5111	2*2	センサレスサーボ	052-722-2182	3
MELSEC iQ-F/FXシーケンサ全般	052-725-2271*3	2*1	インバータ	052-722-2182	—
MELSEC GXシリーズ (MELSEC iQ-R/Q/L/QnAS/AnS)	052-712-2578	2*3	三相モータ	0536-25-0900*2*4	—
ネットワークユニット (CC-Linkファミリー/MELSECNET/Ethernet/シリアル通信)	052-799-3591*2	2*6	産業用ロボット	052-721-0100*8	5
MELSEC iQ-R/Q/Lシーケンサ (CPU内蔵Ethernet機能などネットワークを除く)	052-712-2370*2	2*4	電磁クラッチ・ブレーキ/テンションコントローラ	052-712-5430*5	—
MELSEC GXシリーズ (MELSEC iQ-R/Q/L/QnAS/AnS)	052-799-3592*2	2*5	低圧開閉器	052-719-4170*8	7*2
ネットワークユニット (CC-Linkファミリー/MELSECNET/Ethernet/シリアル通信)	052-712-2830*2*3	2*7	低圧遮断器	052-719-4559*8	7*1
MELSEC Safety	052-712-3079*2*3	2*8	電力管理用計器	052-719-4556*8	7*3
電力計測ユニット/ 絶縁監視ユニット	052-719-4557*2*3	2*9	省エネ支援機器	052-719-4557*2*3	7*4
			小容量UPS (5kVA以下)	052-799-9489*2*6	7*5

お問合せの際には、今一度電話番号をお確かめの上、お掛け間違いのないようお願いいたします。なお、電話技術相談窓口の最新情報は、「三菱電機FAサイト」<www.MitsubishiElectric.co.jp/fa>でご確認ください。

*1: 春季・夏季・年末年始の休日を除く *2: 選択番号の入力は、自動窓口案内冒頭のお客様相談内容に関する代理店、商社への提供可否確認 *10: MELSOFT Geminiの電話技術相談窓口は、MELSOFT Gemini保守サービスの技術サポート窓口をご利用ください。
*2: 土曜・日曜・祝日を除く *3: 日曜を除く *4: 三菱電機FAサイトより、3Dシミュレータ MELSOFT Gemini リーフレット (L08815) をご参照ください。
*3: 金曜は17:00まで *8: 日曜を除く *5: 詳細は、三菱電機FAサイトより、e-F@ctory MELSOFT Gemini リーフレット (L08815) をご参照ください。
*4: 月曜～木曜の9:00～17:00と *9: SCADA GENESIS64™の技術相談は、三菱電機FAサイトの「仕様・機能に関するお問い合わせ」または *11: MELSOFT Mirrorの技術相談は、MELSOFT Mirrorの技術サポート窓口 (メール) をご利用ください。
金曜の9:00～16:30 *10: GENESIS64™保守サービス (SupportWork) の技術サポート窓口をご利用ください。 *12: MELSOFT Mirror技術サポート窓口は、MELSOFT Mirrorをご利用の方向けの有償サービスです。
*5: 受付時間9:00～17:00 (土曜・日曜・祝日・当社休日を除く) *11: GENESIS64™保守サービス (SupportWork) は、GENESIS64™をご利用の方向けの有償サービスです。 *13: MELSOFT Mirror技術サポート窓口は、MELSOFT Mirrorをご利用の方向けの有償サービスです。
*6: 月曜～金曜の9:00～17:00 *12: 詳細は、三菱電機FAサイトより、GENESIS64™保守サービス (SupportWork) ガイド (BHP-F0005-0026) をご参照ください。 *14: 詳細は、三菱電機FAサイトより、MELSOFT Mirror オペレーティングマニュアル (SH-082683) をご参照ください。



三菱電機のe-F@ctoryコンセプトはFA技術とIT技術を活用して開発費用の削減、生産性の向上および保守の改善により“一歩先を行く”ものづくりを目指すことです。このコンセプトはe-F@ctory アライアンスパートナーによってサポートされ、ソフトウェア、機器とシステムインテグレーションを包括し最適化されたe-F@ctoryキーテクノロジーにより、エンドユーザーのニーズと、より合理的な投資プランを満たします。

